

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年3月30日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(白糸線)	バス利用者の意見を反映し、JRとの乗継ぎを考慮したダイヤ改正を行うなど、利便性の向上に努めた。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	評価の指標は、路線別の収支率。 バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」の開催、JRとの乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を行うなど、利便性向上に取り組まれていることを評価します。	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(雷山線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発を行った。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 次年度に実施予定の再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(曾根線波多江経由)	バス利用者の意見を反映し、JRとの乗継ぎを考慮したダイヤ改正を行うなど、利便性の向上に努めた。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤや路線などの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(曾根線有田経由)	バス利用者の意見を反映し、JRとの乗継ぎを考慮したダイヤ改正を行うなど、利便性の向上に努めた。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤや路線などの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(井原山線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発を行った。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(川原線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発を行った。	A	B	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(前原今宿線)	広報等を利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	C	沿線住民への情報提供や利用啓発を行う。また、交通渋滞による慢性的な遅延の解決に向けてダイヤの見直しなどを検討する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(九大線波多江経由)	九州大学伊都キャンパスへの統合移転完了に向けた輸送力の強化を行うことにより利用者増につながった。	A	C	九大の移転完了後の学生や関係者の利用実態に合わせ、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(九大線泊・油比経由)	九州大学伊都キャンパスへの統合移転完了に向けた輸送力の強化を行うことにより利用者増につながった。	A	C	九大の移転完了後の学生や関係者の利用実態に合わせ、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(初深江線)	広報等を利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤや路線などの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車(株)	コミュニティバスの運行(市街地循環線)	広報等を利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	C	沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤや路線などの見直しを必要に応じて実施する。		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー 黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区経由～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。	評価の指標は、路線毎の利用者数。利用者の増加を目的とした沿線コミュニティへの定期的な利用情報報告が行われていることを評価します。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことを期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(佐田コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等)		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(黒川コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等)		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 福城線	○運行区間 蟻城地区～福田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー 杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地域中心部、杷木地区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー 長瀬線	○運行区間 大福地区～金川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー 上秋月・安川線	○運行区間 上秋月地区～安川 地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス	○運行区間 朝倉・宮野・大庭・ 福成地区～朝倉地 域中心部	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 矢野竹線	○運行区間 矢野竹～十文字～ 甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 美奈宜の杜線	○運行区間 矢野竹～美奈宜の 杜地区～甘木市街 地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田 (株)	米の山・黒崎団地 線 黒崎団地系統 西鉄バス大牟田 営業所～黒崎団地	事業評価結果を踏まえ、生活交通確保維持改善計画内に掲げている「目標を達成するために行う事業」の中で、前回の取組みと変わった点 が収支にどの程度影響する のか確認を行った。 【目標を達成するために 行う事業】 [1]高齢者の乗降時間や 鉄道への接続に考慮した ダイヤの見直しの実施 [2]時刻表のポスティング [3]バス路線沿線のイ ベント情報を毎月バスに 掲示し、バスを利用して イベントに赴いていただ くようなPR活動の実施 [4]高齢者イベントでの グラウンドバス65の案内 チラシ配布など、イベ ントへの参加によるバ ス路線PR活動の実施 [5]商業施設などでの 時刻表やチラシの配布 [6]バスを身近に感 じてもらう取組みの一 環として、小学校での バスの乗り方教室や商 業施設等でのこどもを 対象としたバスの乗り 方教室の実施 [7]利用促進に向けた 活動実施や情報提供の 充実 【公共交通マップ作成、 乗り方教室や出前講座 の開催、周辺市町と連 携した公共交通利用促 進、バスに親しみをも つための体験・実施】	A	C	目標達成に向け、各系統の利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、沿線の企業等に利用促進チラシを配布し、新規利用者を増やし、各系統の収支改善を行う。	評価の指標は収支率。目標達成に向け利用者の属性を踏まえた利用促進に取り組まれていることを評価します。目標値を大きく下回った系統については、利用者ニーズを把握し、公共交通を利用して頂きたい方にアプローチして頂くことを期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田 (株)	米の山・黒崎団地 線 黒崎団地系統 大牟田駅～黒崎 団地		A	C			
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田 (株)	米の山・黒崎団地 線 黒崎団地系統 新栄町～黒崎 団地		A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和ひがし線	大和ひがし地域の運行	・昨年度10月の再編で大和ルートが2路線から3路線になったことにより、前回目標値よりも微増の1便あたり4.4人に目標を設定した。	A	A	利用者が増加し、目標を達成した。今後は利用の少ないバス停の撤去やルートの見直しを随時行う。	評価の指標は、便当たりの利用人員数。平成30年10月の路線の見直しにより昨年度より高い目標を掲げたにもかかわらず、4路線中3路線において目標を達成したことを評価します。	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和みなみ線	大和みなみ地域の運行	・昨年度10月の再編で大和ルートが2路線から3路線になったことにより、前回目標値よりも微増の1便あたり4.5人に目標を設定した。	A	A	利用者が増加し、目標を達成した。今後は利用の少ないバス停の撤去やルートの見直しを随時行う。	自己評価については、目標未達だった大和にし線については、住民への広報等利用促進への取り組みにより一便あたりの利用者が増加することを期待します。	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和にし線	大和にし地域の運行	・昨年度10月からの再編による新路線であるため、他路線よりもやや少なめの目標値とした。	A	B	目標達成できなかった。H30年10月からの新路線ということもあり、他路線に比べて利用者が少ないため、今後は利用促進を中心に利用者増加のための取り組みを行っていききたい。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 三橋線	三橋地域の運行	・昨年度利用者が増えたため、1便あたりの利用者目標を0.5増の3.5人に設定した。	A	A	目標達成した。利用者は増加傾向にあるため、今後は利用の少ないバス停の撤去やルートの見直しを行い、さらなる利便性の向上に努める。		
久山町地域公共交通活性化協議会	協和タクシー(株) (※H31年4月～4台体制) (1)山田先回り レスポアール～(山田循環)～レスポアール (2)久原先回り レスポアール～(久原循環)～レスポアール (3)猪野経由便 トリアス久山～猪野～篠栗駅	(1)山田先回り レスポアール～上山田南～猪野～草場～大谷～下山田～古賀橋トリアス前～上山田南～役場～下久原～東久原～上久原～レスポアールの運行 (2)久原先回り レスポアール～上山田南～古賀橋トリアス前～下山田～大谷～草場～猪野～上山田南～レスポアールの運行 (3)猪野経由便 トリアス久山～下山田～猪野～山の神～久原療育園前～久山温泉前～大浦～篠栗駅前	・利用状況 イコバス(町内巡回)の利用状況については、平日・土日祝ともに利用が増加傾向にある。 ・満足度 また、満足度についても、高い数字をいただいているので、引き続きこの状態を維持できるように努める。	A	B	・イコバスについては、H31年4月～4台体制に移行したことなどの影響で、利用も増加しているため、今後も引き続き利用促進のPRを図る。 ・H31年4月～、西鉄バスがトリアス止めとなり、代替をイコバスが4台体制で運行しており、幹線系統と町内巡回の接続や、幹線系統の維持・充実を図るための、町内巡回の地域特性に適した運行システムの検討等を進める必要がある。 ・西鉄27B・70番系統、JR九州バス・JRとイコバスの一体的な町内交通体系の整備を継続的に行う。	評価の指標は、乗降客数と利用者満足度。 西鉄、JR九州バス、JRとイコバスとの一体的な町内交通体系の整備を行ったことにより乗降客数が目標達成していることを評価します。 利用者満足度については目標には達成してはいないが高い満足度は得られているので、今後も利用者ニーズの把握につとめられ、満足度がアップすることを期待します。	
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊(株)	倉坂線(古門栄町～くらしの郷～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。	A	B	令和2年3月31日をもって、当路線は廃止になるため、廃止後の代替路線において、既存の利用者の継続的な利用及び潜在的な利用者にも利用される取組を行う事で、大幅に見直しを図っていききたい。	評価の指標は、年間利用者数。自己評価については利用者の減少の要因を分析するとともに利用者ニーズを把握し、子供、学生、高齢者など公共交通を利用していただきたい方に対してアプローチしていただくことを検討願います。	
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊(株)	泉水線(グローバルアリーナ～くらしの郷～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。	A	B	令和2年3月31日をもって、当路線は廃止になるため、廃止後の代替路線において、既存の利用者の継続的な利用及び潜在的な利用者にも利用される取組を行う事で、大幅に見直しを図っていききたい。	令和2年4月から路線定期運行からデマンド運行への変更については、バスガイド等を利用して住民への十分な説明を行いスムーズな移行が行われ新たな住民の足となることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー(株)	長谷線(長谷観音～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。	A	C	令和2年3月1日から、当路線は乗場を大幅に増設する。既存の利用者及び新たな利用者が継続して利用できる路線になるよう、利便性の向上を図っていく。また、当該路線の認知度の向上を図った周知を徹底していく。	
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー(株)	上木月線(古門～くらの郷)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。イベントに関するチラシを配布することで利用者増を図った。	A	B	令和2年3月1日から、当路線は乗場を大幅に増設する。既存の利用者及び新たな利用者が継続して利用できる路線になるよう、利便性の向上を図っていく。また、当該路線の認知度の向上を図った周知を徹底していく。	
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	通勤かわせみ	利用者からの要望・意見等を考慮しつつ、かわせみバスと博多南線が接続しやすいダイヤを目標とし、平成31年3月16日のJR博多南線ダイヤ改正に合わせて、同日にかわせみバスダイヤを改正した。	A	A	かわせみバスと博多南線のダイヤの接続強化により平成31年3月16日のかわせみバスダイヤ改正後も利用者数は増加傾向であり、通勤かわせみは目標を達成することができた。しかし、他の路線は目標を達成できていない状況であった。令和2年度からは、路線の見直しを実施し、重複路線の解消など効率化を図ることとしている。今後も引き続き、分科会及び協議会委員とともに効果的・効率的な運行体系構築にむけ協議を進めていく。	評価の指標は採算性と利用者数。利用者からの意見を反映しJRのダイヤ改正にあわせて乗り継ぎに考慮したダイヤ改正を行うなど利用促進に取り組まれており、通勤かわせみの目標を達成したことを評価します。他の路線については目標値を大きく下回っていることから、利用者ニーズの把握に努め令和2年度から実施される路線の見直しに繋がることを期待します。
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ西畑線		A	C		
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ埋金線		A	C		
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ南畑線		A	C		
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光飯塚東地区	飯塚東地区内及び越智外科胃腸科医院・ハローデイ柏の森店への運行	利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進の呼びかけのほか福祉イベントへの参加等の広報活動を行うことで、住民に対する周知については一定の効果が出ている。利用者を含めた住民からの要望等については、電話や窓口での聞き取りやアンケート調査結果、及びまちづくり協議会や各種団体からの意見等を反映し、運行改善を行っている。	A	A	①令和2年度版の利用ガイドを、高齢者等の利用者によりわかりやすいように作成し、市民への周知に努める。 ②年々、予約乗合タクシーの利用方法や有効性の認知が拡大し、今年度の追加登録者数は昨年度よりも6.5%増加することができた。今後も引き続き、地元説明会、福祉イベント等へ参加し、市民への周知活動の強化に取り組み、利用促進を図る。 ③利用者の利便性向上のため、民間事業者への影響に配慮しながら、市民の要望を反映して、利用ニーズに応じた運行内容を検討する。 ④第2次飯塚市地域公共交通網形成計画に基づき、高齢者等の交通弱者が安心して暮らせる公共交通体系の構築を目指す。	評価の指標は、輸送人員数。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことを期待します。
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光庄内地区	庄内地区内及び筑豊緑地・トライアル上三緒店への運行					
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光鎮西地区(八木山地区以外)	鎮西地区(八木山地区以外)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス花瀬店への運行					
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光筑穂地区	筑穂地区内及び済生会病院・青山医院・JR桂川駅への運行					
飯塚市地域公共交通協議会	穂波タクシー(株)穂波地区	穂波地区内及びJR筑前大分駅への運行					
飯塚市地域公共交通協議会	安全タクシー(有)穎田・鯉田地区	穎田・鯉田地区内及び筑豊緑地への運行					
飯塚市地域公共交通協議会	総合交通(株)鎮西地区(主に八木山地区)	鎮西地区(主に八木山地区)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス飯塚花瀬店への運行					

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
飯塚市地域公共交通協議会	総合交通(株) 二瀬地区	二瀬地区内及びせき損センター・イオン穂波店への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	(有)幸袋タクシー 幸袋地区	幸袋地区内及びJR 鯉田駅・川食鯉田店・ハローデイ九工大前店・鯉田病院への運行						
川崎町地域公共交通会議	川崎町	安宅コースの運行	利用促進活動、バス停新設等の効果で利用者数の増加につながった。	A	B	町民全体に周知が行き届いていない状況なので、これからも利用促進活動を続けていく。	評価の指標は、年間利用者数。バス路線を維持していくためバス利用者の意見を反映し新たなバス停の新設や路線の延長を行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標値に達していないが、前年度の実績を上回る系統も多いことから、利用者の増加減少の要因を分析しそこから対応策につなげていくことを検討願います。今後、協議会において地域公共交通網形成計画の策定に向けた取組が進められることによりまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	木城・荒平コースの運行	利用促進活動、バス停新設等の効果で利用者数の増加につながった。	A	B	町民全体に周知が行き届いていない状況なので、これからも利用促進活動を続けていく。		
川崎町地域公共交通会議	川崎町	上真崎・永井コースの運行	利用促進活動、バス停新設等の効果で利用者数の増加につながった。	A	B	町民全体に周知が行き届いていない状況なので、これからも利用促進活動を続けていく。		
川崎町地域公共交通会議	川崎町	池尻・田原コースの運行	利用促進活動、バス停新設等の効果で利用者数の増加につながった。	A	B	町民全体に周知が行き届いていない状況なので、これからも利用促進活動を続けていく。		
川崎町地域公共交通会議	川崎町	三井・大峰コースの運行	利用促進活動、バス停新設等の効果で利用者数の増加につながった。	A	B	町民全体に周知が行き届いていない状況なので、これからも利用促進活動を続けていく。		
川崎町地域公共交通会議	川崎町	三井・大峰コースの運行	利用促進活動、バス停新設等の効果で利用者数の増加につながった。	A	B	町民全体に周知が行き届いていない状況なので、これからも利用促進活動を続けていく。		
岡垣町地域公共交通協議会	(株)西部遠賀交通	○フィーダー対象 [4路線20系統運行] 糠塚・元松原循環線 [7系統] 海老津駅南口・龍王団地線 [7系統] 高陽団地循環線 [5系統] 上畑・上高倉線 [1系統] ○フィーダー対象外 [1路線8系統運行] 波津線波津系統 [6系統] 波津線松ヶ台循環 [2系統]	【利便性の向上】 ①海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定 ②時刻表に、具体的利用例や、書き込み可能なマイ時刻表を掲載。 ③コミバスでも西鉄バスの定期券が使えるようにした。 ④西鉄バスでコミバスの回数券が使えるようにした。 【利用促進】 ①海老津駅利用者にノベルティ(付箋)を配布 ②高齢者向け利用促進講座の開催	A	B	地域公共交通網形成計画を基に、更なる利便性の向上、利用者の増加、運行経費の軽減につながるよう、 ①まちづくりや教育、福祉政策と連携した公共交通網の維持、構築 ②運行形態や運行水準の適正化 ③新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進 以上3つを基本方針とし、取り組んでいく。	評価の指標は、網形成計画の策定時点である平成27年度の輸送人員数。 目標を達成することはできなかったが、利用者の意見を反映しJR海老津駅との乗り継ぎを考慮したダイヤに改正し、交通空白地にデマンドタクシーを導入、高齢者向けの利用促進講座を開催するなど利用促進に取り組まれたことにより昨年度の利用者を大幅に増加させたことを評価します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況			⑥事業の今後の改善点
須恵町地域公共交通協議会	須恵町	全5路線のうち、2路線(佐谷～上須恵線、乙植木～須恵線)を交通不便地域の指定を受け確保維持事業を申請	乗降者数前年度100%を確保する ・新ダイヤ構築に向けた利用動向分析 ⇒【車両小型化・オープンデータ活用】 ・大学と連携した利用調査実施 ⇒【新ダイヤ運行後の調査】 ・住民の利用促進に向けた情報発信 ⇒【PR活動(広報紙・HP)】 ・利便性向上のため。65歳以上を対象とした「料金免除証明書」を発行 ・運賃以外の事業収入の確保	A	A	・小学校区に合わせた路線変更検討(令和3年度実施予定) ・大学連携によるニーズ調査(継続実施) ・大学連携によるコミュニティバス運行位置リアルタイム表示システム導入	評価の指標は乗降者数。公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されていることを評価します。 引き続き利用者ニーズを把握し、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して頂きたい方に対してアプローチして頂くことを期待します。 今後、協議会において地域公共交通計画の策定に向けた取り組みが進められることによりまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株)八女エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や地域交通のガイドブック・ホームページを作成し、利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、周知活動を行うことで利用促進に取り組む。	評価の指標は、月あたりの利用人員数。 地域説明会の開催や地域交通のガイドブックを作成し利用促進に取り組みされていることを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株)辺春エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や地域交通のガイドブック・ホームページを作成し、利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、周知活動を行うことで利用促進に取り組む。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株)白木エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や地域交通のガイドブック・ホームページを作成し、利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、周知活動を行うことで利用促進に取り組む。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株)辺春エリア(堀川系統)	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や地域交通のガイドブック・ホームページを作成し、利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、周知活動を行うことで利用促進に取り組む。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株)矢部エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や地域交通のガイドブック・ホームページを作成し、利用促進に努めた。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、周知活動を行うことで利用促進に取り組む。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株)上陽エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や地域交通のガイドブック・ホームページを作成し、利用促進に努めた。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、周知活動を行うことで利用促進に取り組む。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株)(有)川島タクシー くろき交通 (有)八女観光バス 旧黒木町エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や地域交通のガイドブック・ホームページを作成し、利用促進に努めた。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、周知活動を行うことで利用促進に取り組む。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	星野タクシー(有) 星野エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や地域交通のガイドブック・ホームページを作成し、利用促進に努めた。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上、また乗車券販売など、利用者の増加(維持)策を検討する。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、周知活動を行うことで利用促進に取り組む。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	坂谷・田川病院線A系統 坂谷～田川病院の運行	取支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	利用者の利便性向上及び新規利用者獲得のため、鉄道・バスとのスムーズな接続を考慮したダイヤ編成。チラシ、広報紙による周知など利用促進、時刻表の配布を行う。	<p>評価の指標は年間の輸送人員と運賃等収入。バス利用者の意見を反映しJR駅、幹線バスとの乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>自己評価については利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策につなげていくことをご検討願います。</p> <p>次年度に実施予定の公共交通網形成計画に基づく取り組みにより、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。</p>	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線A系統 上ノ山団地～田川市立病院の運行	取支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線B系統 上ノ山団地～後藤寺前駅の運行	取支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線C系統 後藤寺駅前～田川市立病院の運行	取支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線A系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	取支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	減少傾向にある利用者の利用離れを防ぐため、広報紙等による利用促進や街頭啓発活動の実施、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線B系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	取支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	減少傾向にある利用者の利用離れを防ぐため、広報紙等による利用促進や街頭啓発活動の実施、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	取支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	減少傾向にある利用者の利用離れを防ぐため、広報紙等による利用促進や街頭啓発活動の実施、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線A系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	取支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線B系統 山賊鍋～伊田駅前 の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線C系統 伊田駅前～田川市 立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	白鳥工業団地線A 系統 後藤寺駅前～伊田 駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	通学利用者の利便性向上のため、通学時間に合わせた運行ダイヤの見直しや新たな利用者獲得に向けたチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 田園・松の本快速 線	遠賀川駅～松の本 ～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集の掲載、体験乗車の実施、出前講座の実施など、利用促進の取り組みを行ったが、利用者数は前年度に比べて2,080人の減となった。	A	B	この路線では、通勤・通学目的の利用者が減少傾向にあると考えられる。そのため、①バス停の新設、時刻表の見直しの検討②体験乗車・出前講座の実施③利用者アンケートの実施など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。	評価の指標は、年間利用者数。自己評価については利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策につなげていくことをご検討願います。今後も平成29年8月に策定された地域公共交通網計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 虫生津・浅木快速線	遠賀川駅～蓮角～ 遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集の掲載、体験乗車の実施、出前講座の実施など、利用促進の取り組みを行った結果、利用者数は前年度に比べて581人の増となった。	A	A	この路線では、通勤・通学目的の利用者が増加傾向にあると考えられる。利用者維持及び更なる増加のためにも、①バス停の新設、時刻表の見直しの検討②体験乗車・出前講座の実施③利用者アンケートの実施など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 田園・松の本線	遠賀川駅～松の本 ～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集の掲載、体験乗車の実施、出前講座の実施など、利用促進の取り組みを行ったが、利用者数は前年度に比べて1,080人の減となった。	A	B	この路線では、買い物目的の利用者が減少傾向にあると考えられる。そのため、①体験乗車・出前講座の実施②利用者アンケートの実施③バス停の新設、時刻表の見直しの検討など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 虫生津・浅木線	遠賀川駅～ふれあ いの里～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集の掲載、体験乗車の実施、出前講座の実施など、利用促進の取り組みを行ったが、利用者数は前年度に比べて181人の減となった。	A	B	この路線では、遠賀川駅から遠賀高校までの利用者減少に加え、通院目的の利用者が減少傾向にあると考えられる。高校のスクールバスが運行しているため、学生の大幅な利用促進は難しい状況であるが、①体験乗車・出前講座の実施②バス停の新設、時刻表の見直しの検討③利用者アンケートの実施など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 島津・尾崎線	遠賀川駅～尾崎～ 遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集の掲載、体験乗車の実施、出前講座の実施など、利用促進の取り組みを行った結果、利用者数は前年度に比べて62人の増となった。	A	B	この路線では、目標は達成できなかったが、利用者数は増加しており、特に遠賀川駅までの利用者が増加傾向にあると考えられる。利用者維持及び更なる増加のためにも、①体験乗車・出前講座の実施②利用者アンケートの実施③バス停の新設、時刻表の見直しの検討など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 老良・広渡線	遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集の掲載、体験乗車の実施、出前講座の実施など、利用促進の取り組みを行った結果、利用者数は前年度に比べて709人の増となった。	A	A	この路線では、買い物・通院目的の利用者が増加傾向にあると考えられる。そのため、①体験乗車・出前講座の実施②バス停の新設、時刻表の見直しの検討③利用者アンケートの実施など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。	
芦屋町地域公共交通会議	芦屋町地域公共交通会議	芦屋タウンバス 中央病院・遠賀川 駅線	年間利用者数の維持を図りながら、平成31年4月1日から、一部の路線及び時刻表の見直しを行った。	A	A	現行の年間利用者数の維持を図りながら、利用促進に努める。	評価の指標は、年間利用者数。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。利用者増の要因として鉄道や幹線バスとの乗り継ぎ時間の短縮や利用者の要望を取り入れた路線の見直しを行うなど利便性の向上に取り組まれた評価します。今後も引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことを期待します。
芦屋町地域公共交通会議	芦屋町地域公共交通会議	芦屋タウンバス はまゆう・遠賀川 駅線	年間利用者数の維持を図りながら、平成31年4月1日から、時刻表の見直しを行った。	A	A	現行の年間利用者数の維持を図りながら、利用促進に努める。	
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車	町内全域の運行	年間利用者目標数14,000人に対し年間総利用者数16,194人で115.67%の達成率となった。	A	A	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	評価の指標は、年間利用者数。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。今後、協議会において地域公共交通計画の策定に向けた取り組みが進められることによりまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
広川町地域公共交通協議会	堀川バス(株)	町内全域の運行	年間利用者目標数14,000人に対し年間総利用者数16,194人で115.67%の達成率となった。	A	A	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー(株)	上頓野線(直方駅～湯野原～竜王峡)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、地域と協議を行い、令和元年10月よりバス停新設をし、交通空白地域の減少を図る予定である。	A	B	トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。	評価の指標は1運行平均の利用者数。利用者の意見を取り入れスーパーを経由する路線に変更したことにより、5路線中3路線について、利用者が増加しており、目標達成していることを評価します。自己評価については、目標未達だった系統について詳細に分析しそこから対応策につなげていくことを検討願います。今後も平成30年9月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
直方市地域公共交通会議	MGタクシー(株)	武谷線(直方駅～ハローデイ直方店～ゴルフ場)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、平成30年10月にスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した。	A	A	トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況		
直方市地域公共交通会議	筑豊タクシー(株)	鴨生田団地線(直方駅～鴨生田団地～サンリブのおがた店)の運行	市のホームページ及び窓口 に時刻表及び路線図を配架 し、周知を行った。また、効 率的な運行の実施の為に時 刻の改定の予定である。	A	A	トリガー制度(1運行平均4名 目標)により利用状況を参考 に、地域と協議を行い、効率 的なルートの選定を行う。ま た、住民が公共交通を自発 的に考える機会の創出を行 う。	
直方市地域公共交通会議	筑豊タクシー(株) 直方タクシー(有) (有)キングタクシー	植木線(直方駅～ サンリブのおがた 店～下町公民館) の運行	市のホームページ及び窓口 に時刻表及び路線図を配架 し、周知を行った。また、令 和元年10月よりタクシー車 両からジャンボタクシーへと 変更を行い、利便性の向上 を図る。	A	A	トリガー制度(1運行平均4名 目標)により利用状況を参考 に、地域と協議を行い、効率 的なルートの選定を行う。ま た、住民が公共交通を自発 的に考える機会の創出を行 う。	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー(株) (株)日の丸タクシー	感田線(直方駅～ 東和苑北～湯野 原)の運行	市のホームページ及び窓口 に時刻表及び路線図を配架 し、周知を行った。また、利 便性の向上に向け、ジャンボ タクシー化および路線変更 の協議を実施している。	A	B	トリガー制度(1運行平均4名 目標)により利用状況を参考 に、地域と協議を行い、効率 的なルートの選定を行う。ま た、住民が公共交通を自発 的に考える機会の創出を行 う。	
久留米市地域公共交通会議	久留米市 地域公共交通会議	北野地域よりみち バス運行 A日程(月・水・金) 20便 B日程(火・木・土) 18便	利用状況や地域からの意見 を基に事業計画の変更を実 施(H31年4月改正)。	A	B	利用者は増加傾向にあ り、目標を達成したが、固定 客の利用が多いため、実利 用者を増やすため、今後も 地域の意見・要望を反映した 運行ルート・ダイヤの改善 を行うと共に、幹線バスの利 用についての周知強化を図る。 また、地域の公共交通として の認識とマイバス意識の向 上に努める。	評価の指標は①1日あたり利用 者数、②幹線バスの利用、③利 用満足度。 バス利用者の意見を反映して ルートの見直しやバス停の新 設、ダイヤ改正を実施するなど 利用促進に取り組みしているこ とを評価します。 自己評価については、利用者の 増加・減少の要因を分析しそ こから対応策に挙げていくこと をご検討願います。
久留米市地域公共交通会議	久留米市 地域公共交通会議	城島地域よりみち バス運行 A日程(月・水・土) 16便 B日程(火・木・金) 19便	利用状況や地域からの意見 を基に事業計画の変更を実 施(H31年3月改正)。また、 地域イベントでの臨時運行を 実施。	A	B	ダイヤ改正後の日利用者は 23.1人と増加傾向にある。 今後も地域の意見・要望を 反映した運行ルート・ダイヤ の改善を行うと共に、幹線バ スの利用についての周知強 化を図る。 また、地域の公共交通として の認識とマイバス意識の向 上に努める。	令和2年度に策定予定の第2期 地域公共交通網形成計画に基 づく持続可能な交通ネットワー クが構築されることを期待し ます。
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通 (株) 産業タクシー(株)	太賀・朝霧系統	アンケート調査及び座談会 の結果を踏まえ、住民ニー ズの把握に努め、効率的な 運行となるよう計画の見直し に取り組んだ。	A	B	運行開始から3年目まで利 用者が増加していたが、4年 目で微減していることから、 改善に向けた取組を検討す る。	評価の指標は、利用者数及び収 支率。 中間市バス路線を維持してい くために、アンケート調査の実 施や沿線住民座談会を各地で開 催し、住民の意見を取り入れて ダイヤ改正を行うなどの取り 組みを評価します。 自己評価については、利用者の 増加・減少の要因を分析しそ こから対応策につなげていくこ とをご検討願います。
中間市地域公共交通会議	(有)ことぶきタク シー	通谷・桜台系統	アンケート調査及び座談会 の結果を踏まえ、住民ニー ズの把握に努め、効率的な 運行となるよう、運行ダイヤ の改正に取り組んだ。	A	A	令和元年10月1日付けでダイ ヤを改正したことから、今後 の利用状況を注視するととも に、更なる改善の検討も併 せて行う。	引き続き協議会が設定する今後 の改善点が着実に推進されると ともに協議会が日々の公共交 通の利用、取組の情報を認知す る場として活用されることを期 待します。
中間市地域公共交通会議	(有)ことぶきタク シー	垣生・下大隈系統	アンケート調査の結果を基に 座談会を開催し、住民ニー ズの把握に努め、効率的な 運行となるよう計画の見直し に取り組んだ。	A	C	運行開始から3年が経過し ていることから、ダイヤ改正 やルート改正などの運行方 法の見直しを検討する。	
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通 (株)	砂山・底井野系統	アンケート調査の結果を基に 座談会を開催し、住民ニー ズの把握に努め、効率的な 運行となるよう計画の見直し に取り組んだ。	A	C	運行開始から3年が経過し ていることから、ダイヤ改正 やルート改正などの運行方 法の見直しを検討する。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 水上・本郷線	瀬高町の水上～清水～上庄～本郷地域を運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	A	現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	評価の指標は一便あたりの乗車人員。 自己評価については、利用者の増加につながる取り組みとして市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、時刻表の全戸配布などの取組により目標を達成した系統が昨年度より増加したことを評価します。 達成できなかった系統については要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 清水・上庄線	瀬高町の清水～水上～本郷～上庄地域を運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	僅かに利用者は増加したが、便あたりの利用者数が目標より少なかった。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田經由①)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	A	昨年は目標未達成だったが、目標達成した。 現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田經由②)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	昨年より利用者が少なかった。新たな利用者を開拓するため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江經由)	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	目標に届かなかったが、利用が増えている。引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努め目標達成を目指す。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	高田町～瀬高町を 国道209号を經由し て運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	便数も多く速達性の高い系統であり、利用者から利用しやすいとの意見が多い。利便性が低下しないようにしつつ、引き続き、更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	新船小屋からJR瀬高 駅間を運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	C	新船小屋からJR瀬高駅間の4.5kmを山川・瀬高線③の最終便への接続のため運行している。回送的な運行であるため、利用者は限られている。JR瀬高駅までの利用や山川町から老人ホーム椿寿園へ訪問される方の帰宅のための利用ニーズがある。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	A	現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線②	山川町の市役所山川支所～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	C	夕方の帰宅者向けの運行をしており、定期的な利用者がいるが、利用が限られている。山川・瀬高線①と違い終点の真弓公民館まで行かないため、利用しづらいとの意見があった。そのため、令和2年4月1日より終点の真弓公民館まで運行する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の真弓公民館を国道443号を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	A	昨年は目標未達成だったが、目標達成した。 JR利用者が山川方面へ帰宅するために必要な系統である。目的のバス停まで時間がかかり過ぎており、JR瀬高駅バス停以外で乗車がほぼないため、令和2年4月1日よりJR瀬高駅以降は降車のみとして、乗車時間の短縮を図り、利用者の利便性を向上及び運転手の負担軽減を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田南部・西部線 ①	高田町の南部及び西部地域をあたご苑から市役所高田支所を経由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施したが、運行ルート及びダイヤの見直しまでは至らなかった。	A	A	昨年は目標未達成だったが、目標達成した。 利便性の向上を求める意見があるため、利用者にとってより良い運行を検討する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田南部・西部線 ②	高田町の南部及び西部地域をヨコクラ病院前から市役所高田支所を経由しJR渡瀬駅まで運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施したが、運行ルート及びダイヤの見直しまでは至らなかった。	A	A	利便性の向上を求める意見があるため、利用者にとってより良い運行を検討する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹飯経由)	山川町～高田町を亀谷・竹飯地域を経由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	目標には届かなかったが、利用が増えている。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)	山川町～高田町を田浦・田尻地域を経由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	C	僅かに利用が増えているが、目標達成にはいたらなかった。沿線の人口は少ないが、みやま市でも特に不便な地域を通る系統であるため、コミュニティバスが必要な地域である。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
宮若市地域公共交通会議	(有)松川タクシー MGタクシー(株)	宮田・小竹線	市ホームページでの周知やバス利用促進の啓発物品の配布等を行い、新規利用者の拡大を目指した	A	C	目標値を大きく下回ってはいるものの、利用者数・収支率は昨年比約50%増である。さらなる周知を行うことにより、新規利用者の増加を図るとともに、利用者の少ない時間帯に関しては見直しを行うことによる収支の改善を図る。	評価の指標は、年間利用者数。 目標値を大きく下回っていることから利用者ニーズの把握に努めることにより協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。 今後、協議会において地域公共交通計画の策定に向けた取り組みが進められることによりまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嘉麻市地域公共交通 会議	嘉穂観光(有)	稲築桂川線	利用促進を図るために定期券補助制度の実施や総合時刻表の配布を行いバス利用の呼びかけを行った。	A	B	平成31年4月に運行を開始した新規路線であり、まだまだ周知不足の面もあるため、今後も引き続きバス運行に関する広報やホームページによる周知、総合時刻表の配布等を行い、さらなる利用促進に努めます。 また、嘉麻市地域公共交通網形成計画を基に、利便性の向上や収支率の改善等に繋がるよう、令和2年4月には福祉バスを市バスに統合する等公共交通の全体見直しを行う予定です。	評価の指標は路線ごとの収支率。 自己評価については、平成31年4月に運行を開始したばかりであり、利用者ニーズを把握し、子供、学生、高齢者など公共交通を利用していただきたい方に対してアプローチしていただくことを検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
鳥栖市地域公共交通 活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 弥生が丘循環線	鳥栖駅前～弥生が丘駅～鳥栖駅前	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。	評価の指標は、路線ごとの利用者数。 利用促進に向けた沿線住民への情報提供に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 今年度に策定予定の地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
鳥栖市地域公共交通 活性化協議会	(株)鳥栖構内タクシー 鳥栖地区循環線	フレスポ鳥栖～鳥栖まちづくり推進センター南～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B			
鳥栖市地域公共交通 活性化協議会	(株)鳥栖構内タクシー 田代地区循環線	フレスポ鳥栖～くすのぼり博物館～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B	今後も引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。 また、H30、R1年度にかけ、地域公共交通網形成計画を策定する中で、市民アンケート、利用実態調査などを実施しており、今後、地域特性・実情に応じた利用促進策を講じる必要がある。		
鳥栖市地域公共交通 活性化協議会	久留米西鉄タクシー(株) 基里地区循環線	フレスポ鳥栖～永吉町公民館～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	C			
鳥栖市地域公共交通 活性化協議会	久留米西鉄タクシー(株) 旭地区循環線	マックスパリュ鳥栖村田店～下野公民館～マックスパリュ鳥栖村田店	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B			
嬉野市地域公共交通 活性化協議会	温泉タクシー(株) 春日線・大野原線	○H30.10.1～R1.6.3 (春日線)大野～嬉野医療センター(大野原線)平重～体育館前 ○R1.6.4～R1.9.30 (春日線)大野～体育館前(大野原線)平重～嬉野医療センター	市内の総合病院移転に伴う路線の再編を行ない、市広報誌やホームページに、時刻表等を掲載し、市民や観光客向けにPRを行った。また、経路検索サイトへ春日線・大野原線ともに掲載を行ない利用促進を図った。「春日線」については利用者がH30比で64人減少し、「大野原線」については、H30比で23人増加した。今後も、地道な啓発活動等を行い理解を深め積極的な利用促進を図りたい。	A	B	(春日線) H30年度に引き続きR1年度も利用状況・収支状況ともに減少することとなった。利用者数は減っているが、運行コスト増加率はH30年度10.35%増だったのに対し、R1年度は4.04%増と5%以内とすることができた。 (大野原線) 利用状況・収支状況とも前年度と比べ増加した。要因として、総合病院移転に伴い路線を再編し利便性の向上が図れたことが考えられる。 (全体) 沿線住民や地元の地域コミュニティに対し利用促進を図ると同時に、広報誌やホームページ等を通じて、より積極的に市民や観光客等へ情報発信を行っていく。また、2022年度新幹線駅開業に向け、利用者のニーズを把握し利便性の向上に努めたい。	評価の指標は、路線別1人あたりの運行コスト及び利用者数。 総合病院移転に伴う路線再編、経路検索サイトにバス情報を掲載するなど利便性向上に努められていることを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 今後、新幹線開業などを控え、協議会において地域公共交通網形成計画の策定に向けた取り組みを次年度から開始するとのことであり、まちづくりとしっかり連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 晴田線 (小城町巡回バス)	小城町の晴田地区内における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度の割引期間を1年延長した。 (2)巡回バス、路線バス等の時刻表をひとまとめにした総合時刻表を全戸に配布した。 上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C	一部のバス利用者や市民からは、左記のようにニーズにあっていないとの意見があるため、地域のニーズに応じた最適な運行形態やコース、時間設定等を検討する必要がある。 今後は、バス利用者と現在バスを利用していないが、将来的に利用するかもしれない潜在的な利用者への聞き取り調査(アンケート調査等)を実施し、意見を拾い上げ、また、積極的な広報活動にも取り組み、利用促進を図ってきたい。	評価の指標は、1便あたりの利用者数。 運転免許証自主返納者に対する巡回バス運賃割引制度の期間を延長するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標値を大きく下回っている系統については、市に意見のあった利用者ニーズに応じた運行を検討されるとともに公共交通を利用して頂きたい方にアプローチして頂くことを期待します。今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 岩松線 (小城町巡回バス)	小城町の岩松地区内における巡回バスの運行		A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 三里線 (小城町巡回バス)	小城町の三里地区内における巡回バスの運行		A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 北回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の北部地区及び小城町の一部における巡回バスの運行		A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 南回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の南部地区における巡回バスの運行		A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 勝・柿樋瀬線 (牛津町巡回バス)	牛津町の勝・柿樋瀬地区における巡回バスの運行		A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 砥川線 (牛津町巡回バス)	牛津町の砥川地区における巡回バスの運行		A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 天満町・芦刈町線 (牛津町巡回バス)	牛津町天満町地区及び芦刈町の一部(北部)における巡回バスの運行		A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 広域線 (広域循環バス)	市内の主要公共施設等を回る循環バスの運行		A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城タクシー(株) あしま〜る線 (芦刈町乗合タクシー)	芦刈町の南部地区における乗合タクシーの運行		A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城タクシー(株) やまびこ線 (小城やまびこタクシー)	小城町巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行	A	A				
小城市地域公共交通活性化協議会	小城タクシー(株) 江里山・石体線 (小城やまびこタクシー)	小城町巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行	A	A				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 神埼コース	(1)神埼コース 神埼駅を起終点とし協和町等を経由する 54.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	A	既存バス路線の維持・確保及び巡回バス全体の1運行当たりの利用者数について、目標を達成した。 今後は利用者の更なる利便性向上のための地域住民のニーズに合わせたルート、ダイヤの見直しや、新たな運行形態の検討、利用促進のための情報発信等に努める。	評価の指標は、1運行あたりの利用人数の増加率。 目標の増加率に満たないために日評価となっている系統がありますが、その系統も1運行あたりの利用人数は前年度より増加しており、協議会の取り組みの成果も見られます。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析するとともに、利用者のニーズ・利用実態をさらに把握し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 今年度に策定予定の地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 千代田コース	(1)千代田コース 神埼駅を起終点とし仲田バス停等を経由する 38.3km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	既存バス路線の維持・確保について目標を達成することができたが、巡回バス全体の1運行当たりの利用者数については、目標を達成できなかった。 今後は利用者の更なる利便性向上のための地域住民のニーズに合わせたルート、ダイヤの見直しや、新たな運行形態の検討、利用促進のための情報発信等に努める。		
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 迎島～神埼駅	(1)迎島～神埼駅 迎島～神埼駅を起終点とし詫田バス停等を経由する 20.4km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	既存バス路線の維持・確保について目標を達成することができたが、巡回バス全体の1運行当たりの利用者数については、目標を達成できなかった。 今後は利用者の更なる利便性向上のための地域住民のニーズに合わせたルート、ダイヤの見直しや、新たな運行形態の検討、利用促進のための情報発信等に努める。		
鹿島市地域公共交通活性化協議会	祐徳自動車(株):市内循環バス	循環バスの運行	H30.10に鹿島市公共交通網形成計画に基づき、路線変更、ダイヤ改正、運賃改定を行い、市報や時刻表の発行による周知活動の強化に努めた。H31.4には市民の満足度等を把握するために市民アンケートを実施した。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継をPRすることで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に努める。	評価の指標は、1便あたりの利用者数。 市報・ホームページ・ケーブルテレビ等の各種媒体を用いた利用促進策に取り組み、利用者数の増加に繋がっている事を評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析し、具体的な対応策に繋げていくことを期待します。 今後も地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー:高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行	現行の運行内容等について、市報や時刻表を発行することにより周知活動の強化に努めた。H31.4には市民の満足度等を把握するために市民アンケートを実施した。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継をPRすることで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に努める。		
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー:予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(北鹿島線)の運行	H30.10に鹿島市公共交通網形成計画に基づき、便数及び運行曜日を増やし利便性を向上させた。また、対象となる区域の新たな登録者を発掘するために周知活動の強化に努めた。H31.4には市民の満足度等を把握するために市民アンケートを実施した。	A	B	予約型のりあいタクシーに関しては、利用者アンケート等を実施し、改善点等の把握に努め、利用促進に係る取組みを行う。合わせて、対象となる区域の新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、住民ニーズを勘案して目標稼働率20%を目標とする。		
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー:予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(能古見線)の運行	H30.10に鹿島市公共交通網形成計画に基づき、便数及び運行曜日を増やし、H31.4からは対象区域を拡大し利便性を向上させると共に市民の満足度を把握するために市民アンケートを実施した。また、対象となる区域の新たな登録者を発掘するために周知活動の強化に努めた。	A	B	予約型のりあいタクシーに関しては、利用者アンケート等を実施し、改善点等の把握に努め、利用促進に係る取組みを行う。合わせて、対象となる区域の新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、住民ニーズを勘案して目標稼働率20%を目標とする。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)鳥栖構内タクシー	〈みやき中央線〉 大島病院～斎藤整形外科の運行 〈三根東線〉 斎藤整形外科～土井外公民館～坂口公民館～斎藤整形外科の循環運行 〈中原線〉 大島病院～板部～香田～大島病院の循環運行 〈三根西線〉 斎藤整形外科～三根庁舎前～梅野医院前～斎藤整形外科の運行 〈北茂安線〉 大島病院～豆津～みやき庁舎～大島病院の循環運行	町内の公共施設や病院等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	B	町の主要施設を結ぶみやき中央線では、利用者の伸びが大きい。 また、その他の路線においても、若干ではあるが利用者増となっている。 現在、コミュニティバスを運行して7年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。	評価の指標は、1日の平均利用者及び利用者満足度調査。前年度に町内全戸に配布した路線図、時刻表を、今年度は公共施設や病院等に配布するなど、さらなる利用促進に取り組まれていることを評価します。 利用者調査で寄せられた系統の距離・待ち時間に関する意見に対し、今後検討が行われることを期待します。 引き続き利用者ニーズを把握し、可能な限りニーズに沿った移動手段について検討されることを期待します。	
伊万里市民と考える地域交通会議	西肥自動車(株)	●バス名 いまりんバス郊外線 ●系統名 ①牧島～立花線 ②脇田～古賀線 ③屋敷野～南ヶ丘線 ※各線(コース)週2日、1日4回(循環)運行	利用促進を図るため、区長等により、会合時バス利用の呼びかけ及び利便性向上に向けた意見募集を行った。	A	B	利用者が固定化し、新規の利用者が取り込めていないため、区長会・老人会等を通じた周知に取り組む ※沿線の病院や商業施設等の開業に伴い、R2.4から運行経路を見直す予定	評価の指標は、1便あたりの利用者数。 市の広報誌にコミュニティバスに関する特集記事を掲載するなど利用促進策に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析し、具体的な対応策に繋げていくことを期待します。	
伊万里市民と考える地域交通会議	特定非営利活動法人 まちづくり波多津	●バス名 波多津ふれあい号 ●系統名 ①波多津循環線A 波多津循環線B ③波多津循環線C ※月～土、1日3回運行 ④波多津小学校下校便 ※登校日、1日1回運行	利用促進を図るため、区長等により、会合時バス利用の呼びかけ及び利便性向上に向けた意見募集を行った。	A	C	利用者が固定化し、新規の利用者が取り込めていないため、区長会・老人会等を通じた周知に取り組む	今後も地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
伊万里市民と考える地域交通会議	大川町コミュニティ運営協議会	●バス名 コミュニティすこやかバス ●系統名 大川循環線 ※月～金、1日4回運行	利用促進を図るため、区長等により、会合時バス利用の呼びかけ及び利便性向上に向けた意見募集を行った。	A	B	利用者が固定化し、新規の利用者が取り込めていないため、区長会・老人会等を通じた周知に取り組む		
伊万里市民と考える地域交通会議	黒川町まちづくり運営協議会	●バス名 町内巡回バスくろがわ号 ●系統名 ①黒川循環線A ※月～金、1日3回運行 ②黒川循環線B ※月～金、1日2回運行	利用促進を図るため、区長等により、会合時バス利用の呼びかけ及び利便性向上に向けた意見募集を行った。	A	A	利用者が固定化し、新規の利用者が取り込めていないため、区長会・老人会等を通じた周知に取り組む		
伊万里市民と考える地域交通会議	西肥亀の井タクシー(株)	●名称 松浦町デマンドタクシー ●系統名 予約制乗合タクシー ※月・水・金、1日6便	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	A	H31.3に実施した、登録者アンケートに基づいた運行時刻等の見直し		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通会議	(有) 松原タクシー	大和町松梅地区におけるデマンドタクシーの運行	自治会を通じて「べんりカー松梅号だより」を全戸配布し、利用を呼びかけた。また、シルバーバス継続購入を呼びかけた。	A	B	利用者が横ばいとなり伸び悩んでいるため、潜在的な利用者の確保に向けて、関係団体等と連携協力しながら、さらなる利用促進に努める。	評価の指標は、路線ごとの年間利用者数。 新高校1年生の保護者説明会でコミュニティバスの通学利用の説明、デマンドタクシー利用者へのアンケート調査を行うなど、利用促進、利用者ニーズの把握に取り組みられていることを評価します。	
佐賀市地域公共交通会議	佐賀市	富士町におけるコミュニティバスの運行 ※車両減価償却費補助金を活用して、平成29年1月に購入した車両(1台)を用いて運行	「コミュニティバスだより」に各種割引制度の紹介や幹線系統の路線バスで利用可能なICカード等を周知することで、広く住民へ利用を呼びかけた。	A	B	富士地区の路線バス再編に伴い、地域住民の意見を聞きながら交通形態の変更を行う。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析し、具体的な対応策に繋げていくことを期待します。 令和3年度に策定予定の地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
佐賀市地域公共交通会議	佐賀市	三瀬地区におけるコミュニティバスの運行	新高校1年生向けの保護者説明会において、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、「コミュニティバスだより」を発行することで、潜在的な利用者確保に向けた取り組みを行った。	A	A	引き続き新高校1年生向けの保護者説明会において、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、「コミュニティバスだより」を発行することで、潜在的な利用者確保に向けた取り組みに努める。 また、地域住民の意見を聞きながらダイヤの見直しを行う。		
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	東多久立山線「東多久～立山」間の運行(多久市自家用有償運送)	ふれあいバスの全路線TAQUAへの乗り入れについて市のHPに掲載し、周知を行った。	A	A	令和2年度は、バス停の新設、移設を予定している。また、時刻表検索サイトへの時刻表の掲載も検討中である。 更なる利便性の向上、利用促進を目指す。	評価の指標は、路線ごとの1日あたりの利用者数。 ラッピングバスの導入を行うことにより、認知性を向上させる取り組みが行われていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析し、具体的な対応策に繋げていくことを期待します。	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	西多久納所線「西多久～納所」間の運行 車両減価償却費等 国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	ふれあいバスの全路線TAQUAへの乗り入れについて市のHPに掲載し、周知を行った。	A	A	前年度と比較しても、目標達成率は増加傾向にある。 また、時刻表検索サイトへの時刻表の掲載も検討中である。 更なる利便性の向上、利用促進を目指す。	今後とも利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な運行及び利用促進が実施されることを期待します。	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	南多久岸川線「岸川～南多久」間の運行 車両減価償却費等 国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	ふれあいバスの全路線TAQUAへの乗り入れについて市のHPに掲載し、周知を行った。	A	A	前年度と比較し、安定した伸び率を維持している。 また、時刻表検索サイトへの時刻表の掲載も検討中である。 更なる利便性の向上、利用促進を目指す。		
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	昭和自動車(株)	市内全域運行 〔対象地区居住者 ほか〕 (多久ふれあいタクシー : デマンド型)	ふれあいタクシーの運行日拡大(月～土)について市のHPに掲載し、周知を行った。	A	B	ふれあいタクシーの更なる周知を行い、利用者の増加を目指す。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	波戸岬 【呼子～名護屋浜・名護屋城～波戸岬国民宿舎】	唐津2dayフリー乗車券、呼子2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。	評価の指標は、路線ごとの収支率。地域公共交通再編実施計画に基づき、平成28年8月より公共交通の再編を実施しており、今年度は再編を行った路線の利用状況を分析する等利用促進、利便性向上に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析し、具体的な対応策に繋げていくことを期待します。
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	加部島 【呼子～加部島杉村】	唐津2dayフリー乗車券、呼子2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	A	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに再編実施計画による再編により持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	呼子台場 【呼子～呼子台場みなとプラザ】	唐津2dayフリー乗車券、呼子2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	呼子・名護屋浜(小友・名護屋浜) 【呼子～小友・名護屋浜～呼子】	令和元年5月1日に呼子公民館移転による呼子公民館に乗り入れを開始した。また、地元の要望により朝8時台の便を新設、また、加唐島・馬渡島航路乗り場にバス停を新設した。さらに、唐津2dayフリー乗車券、呼子2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	B	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	呼子・名護屋浜(呼子台場・名護屋浜) 【呼子～呼子台場・名護屋浜～呼子】	令和元年5月1日に呼子公民館移転による呼子公民館に乗り入れを開始した。また、地元の要望により朝8時台の便を新設、また、加唐島・馬渡島航路乗り場にバス停を新設した。さらに、唐津2dayフリー乗車券、呼子2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	B	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	呼子・名護屋浜(小友) 【呼子～小友～呼子】	令和元年5月1日に呼子公民館移転による呼子公民館に乗り入れを開始した。また、地元の要望により朝8時台の便を新設、また、加唐島・馬渡島航路乗り場にバス停を新設した。さらに、唐津2dayフリー乗車券、呼子2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	呼子・加部島 【呼子～加部島杉村～呼子】	令和元年5月1日に呼子公民館移転による呼子公民館に乗り入れを開始した。また、唐津2dayフリー乗車券、呼子2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	呼子・波戸岬 【呼子～名護屋城址～波戸岬国民宿舎】	唐津2dayフリー乗車券、呼子2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	星賀 【入野～星賀】	平成31年4月1日に肥前エリアの再編を行い、当該系統の日中便をジャンボタクシーへモード転換し交通空白地へ延伸した。また、利便性向上のため同地区内での乗り継ぎ割引制度を開始した。さらに、唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	納所 【入野～納所】	平成31年4月1日に肥前エリアの再編を行い、当該系統の日中便をジャンボタクシーへモード転換し交通空白地へ延伸した。また、利便性向上のため同地区内での乗り継ぎ割引制度を開始した。さらに、唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	A	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	高串 【入野～高串】	平成31年4月1日に肥前エリアの再編を行い、当該系統の日中便をジャンボタクシーへモード転換し交通空白地へ延伸した。また、利便性向上のため同地区内での乗り継ぎ割引制度を開始した。さらに、唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	B	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	京泊・納所(ジャンボ) 【京泊～納所・入野～高串復センター前】	-	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	瓜ヶ坂・高串(ジャンボ)(火・木・土) 【入野～高串福祉センター前～黒崎】	-	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	駄竹・星賀(ジャンボ)(月・水・金) 【駄竹～星賀～入野】	-	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内東 【唐津駅～シーサイド前～唐津駅】	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(車両減価償却費等補助金)を活用し当該系統に中型車両(日野ポンチョ)を1台導入した。また、唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内西 【大手口～りふれ・済生会病院前～唐津駅】	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(車両減価償却費等補助金)を活用し当該系統に中型車両(日野ポンチョ)を1台導入した。また、唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内南 【大手口～唐津赤十字病院前～唐津駅】	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(車両減価償却費等補助金)を活用し当該系統に中型車両(日野ポンチョ)を1台導入した。また、唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内南 (赤十字病院線) 【大手口～唐津駅・アルピノ～唐津赤十字病院】	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(車両減価償却費等補助金)を活用し当該系統に中型車両(日野ポンチョ)を1台導入した。また、唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	B	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	イオン 【大手口～用尺南～イオン前】	唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内(大手口～大島液化ガス) 【大手口～まいづるCARROT店～大島液化ガス】	唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内(大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド) 【大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド】	唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内(大島液化ガス～百人町～市民グラウンド) 【市民グラウンド～百人町～大島液化ガス】	唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内(大島液化ガス～唐津東中高前) 【大島液化ガス～大手口～唐津東中高前】	唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	市内(唐津フェリーターミナル～大手口) 【唐津フェリーターミナル～西唐津駅前～大手口】	唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	A	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	志気(市民病院きたはた～志気) 【市民病院きたはた～志気】	唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	成淵(市民病院きたはた～成淵) 【市民病院きたはた～成淵上】	唐津2dayフリー乗車券の販売継続、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員削減により企業努力を継続して行っていく。さらに、再編の効果を検証し更なる見直しや改善を行う。		
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株)	基山駅～けやき台～高島団地～老人憩の家～基山駅系統	<p>【目標1 乗降客数】 1日の平均利用者数 平成31年度 88人/日 令和2年度 92人/日 令和3年度 96人/日</p> <p>直近(H29.10～H30.9)の一日あたり利用者数の実績値は84人であった。利用状況等を考慮し、平成31年度以降は実績値の5パーセント増を目標とする。</p>	A	A	<p>将来にわたって持続可能な地域公共交通にするため、安定した利用者の確保に向けた利用促進の取組みを継続する。</p> <p>評価の指標は、コミュニティバス全体の1日平均乗降客数。ダイヤ調整の実施及び有料広告を掲出する等利便性、認知度の向上に繋がる取り組みが行われている事を評価します。今後も引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことを期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。</p>		
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株)	基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統						
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株)	基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～老人憩の家～基山駅系統						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金2便(宮浦～園部～中心部～本桜～長野～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金3便(宮浦～長野～中心部～本桜～園部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金4便(中心部～本桜～長野～中心部～宮浦～園部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～園部～本桜～中心部)						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土2便(長野～本桜～中心部～園部～宮浦～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土3便(長野～園部～中心部～本桜～宮浦)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土4便(中心部～本桜～園部～中心部～宮浦～長野)						
有田町地域公共交通会議	(有)有田タクシー 西肥亀の井タクシー(株)	有田町曲川・大山地区における区域運行登録者住宅～有田町役場等間を1日6便運行	制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用促進を図った。	A	A	更なる制度定着のため、広報、周知に取り組み、利用促進を図る。 新規利用者の増加のために、運転免許の自主返納をされた方をデマンドタクシー利用者に移行してもらうよう取り組む。	評価の指標は、年間利用者数。町内各地区の高齢者サロンへ出向き、デマンドタクシーについての説明を行うことで新規利用登録者を100人増加させる等新たな重要発掘に取り組まれていることを評価します。 今後も引き続き利用者のニーズを把握し、公共交通を利用していただきたい方に対してアプローチしていただくことを期待します。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会	吉野ヶ里観光タクシー(有)	系統名:循環線 運行区間:吉野ヶ里町全域 運行形態:事前登録制、予約制、乗合により、自宅と指定施設間を運行する、デマンド型乗合タクシー。8時台～16時台の1時間に1便(最大1日9便)、予約のあった場合のみ運行。 運行日:平日 運休日:土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)	【目標】 交通結節点(東目達原バス停)、JR吉野ヶ里公園駅及び広域路線バス付近での乗降客数 平成31年度:6.6人/日以上(平成29年9月から平成30年5月までの平均乗降客数6.3人/日の105%)	A	A	目標とする、乗降客数の前年度比5%増を達成し、順調に利用者数が増えている。今後も広報、周知に取り組み、利用者増を図る。	評価の指標は、交通結節点等における乗降客数。 町の広報誌やホームページを使った周知活動の他、利用ガイドを配布する等利用促進を図る取り組みを行われており、目標を達成されていることを評価します。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことを期待します。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な運行及び利用促進が実施されることを期待します。	
長崎市地域公共交通会議	(株) 琴海タクシー	西海町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	評価の指標は、1便当たりの利用者数(前年度の収支率から変更)。 評価指標への検討を加えながら、継続して地域の地域の意見・要望の収集等利用者ニーズの把握に取り組まれていることを評価します。	
長崎市地域公共交通会議	(株) 琴海タクシー	琴海村松町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 今後、協議会において地域公共交通網形成計画の策定に向けた取組が進められることによりまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
長崎市地域公共交通会議	(株) 琴海タクシー	琴海戸根町・琴海戸根原町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
長崎市地域公共交通会議	(株)琴海タクシー	長浦町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市地域公共交通会議	(株)琴海タクシー	琴海形上町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市地域公共交通会議	(株)琴海タクシー	琴海尾戸町・琴海大平町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 対馬交通(株) 系統名 竹敷線	対馬病院～竹敷間路線バスの運行	目標については、昨年度目標達成とならなかったため前回の項目と同様とした。	A	B	収入率を下げる要因は、この路線の収入は定期収入だが生徒の減少による定期収入が減ったため。また、輸送コストが上がった要因は、新たに雇用した人件費、バスの老朽化による修繕費の増であった。大きな故障にならないよう、日頃のメンテナンスをこまめに実施する事と、対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、学生以外の新たな利用者の増加を目指す。	評価の指標は、収支率、1kmあたりの輸送コスト。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 厳原タクシー(有) (有)北厳原タクシー 対州タクシー(有) ホテル対馬(株) 系統名 椎根・厳原線	椎根～厳原間予約制乗合タクシーの運行	目標については、昨年度目標達成とならなかったため前回の項目と同様とした。	A	B	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す。	評価の指標は、収支率、1便あたりの利用者数。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 上県タクシー(株) 系統名 比田勝・五根緒線	比田勝～五根緒間予約制乗合タクシーの運行	目標については、昨年度目標達成とならなかったため前回の項目と同様とした。	A	B	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す		
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 (株)美津島タクシー 系統名 鶏知・緒方線	鶏知～緒方間予約制乗合タクシーの運行	目標については、昨年度目標達成とならなかったため前回の項目と同様とした。	A	A	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 対馬市	田ノ浜～櫻滝間コミュニティバスの運行	目標については、昨年度目標達成とならなかったため前回の項目と同様とした。	A	B	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す		
対馬市地域公共交通活性化協議会	系統名 田ノ浜・櫻滝線 田ノ浜・佐賀線	田ノ浜～佐賀間コミュニティバスの運行						
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ①浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	地域の実情把握により、利用促進に努める。	<p>評価の指標は、1往復あたりの利用者数。これまでの路線毎の指標から、今年度は運行便毎の指標に変更。指標の見直しを図っていることを評価します。利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことを期待します。</p> <p>更に、引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p>	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ②浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ③江の浜線1	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ④江の浜線2	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ⑤江の浜線3	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ⑥江の浜線4	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ⑦神之線1	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ⑧神之浦線2	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ⑨神之浦線3	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車(株) ⑩神之浦線4	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車(株)	岩下洞穴・瀬戸越回地線	地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」において、サービス面の見直しなど利便性向上に向けた検討作業を3回行った。 自治会の班長会議で周知するなど、沿線町内会を通じたPR活動を行い、利用者増につながった。	A	A	更なる利便性向上のため、「交通対策協議会」では乗車人員データをもとに利用者ニーズを把握し、路線、ダイヤの見直し等を分析・検討する。PR活動を行い、利用促進に向けた取り組みを行う。	評価の指標は、1回あたりの平均乗客数。 地元住民代表等による交通対策協議会を定期的に開催し、まめバスの利用状況等の情報共有、改善策を協議されるなど利用促進に取り組み、目標を達成されたことを評価します。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことを期待します。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダーシステム(乗合バス型運行) 今村線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努める。	評価の指標は、平均乗車密度。 おでかけMAPの作成や免許返納バス等の利用促進策、イベントを活用したPR等、公共交通の利用促進に継続して取り組まれていることを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 今後大村市が策定する交通計画とも連携して、持続可能な交通ネットワークが確実に維持されることを期待します。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダーシステム(乗合バス型運行) 富の原・協和町線(野岳湖線)	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダーシステム(乗合バス型運行) 富の原・協和町線(野岳入口)	事業評価結果を反映することができた。	A	B	今後も利用促進のための広報活動を継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。利用状況を見ながら今後の目標数値の見直しについても検討を行う。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダーシステム(乗合バス型運行) 富の原・協和町線(黒丸入口)	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダーシステム(乗合バス型運行) 南部循環線	事業評価結果を反映することができた。	A	B	今後も利用促進のための広報活動を継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。利用状況を見ながら今後の目標数値の見直しについても検討を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー 系統(乗合バス型 運行) 小路口・諏訪線	事業評価結果を反映することができなかった。	A	B	今後も利用促進のための広報活動を継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。利用状況を見ながら今後の目標数値の見直しについても検討を行う。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー 系統(乗合バス型 運行) 黒木線	事業評価結果を反映することができなかった。	A	B	今後も利用促進のための広報活動を継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。利用状況を見ながら今後の目標数値の見直しについても検討を行う。	
五島市地域公共交通会議	五島自動車(株)	五島市福江島内1 系統運行 (福江～樫之浦～ 観音平線)	市役所奥浦出張所に運行ルート及び時刻表を配置し、更なる利用促進に取り組んだ。	A	A	車内及び市役所奥浦出張所など主要な施設に運行ルート及び時刻表のパンフレットを配置し、更なる利用促進に取り組む。	評価の指標は、1便あたりの利用人数。 公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されていることを評価します。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことを期待します。 また、協議会が設定する今後の改善点が確実に推進されることにより、持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。
五島市地域公共交通会議	丸濱産業(有) 奈留交通(有)	五島市奈留島内5 系統運行	奈留島地区生活交通検討委員会及び関係町内会と連携し、利用促進活動に取り組んだ。	A	B	利用促進活動に取り組み、路線の維持継続に努める。	評価の指標は、利用状況(計画に対する運行率)。 自己評価については、利用状況の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。
五島市地域公共交通会議	丸濱産業(有)	五島市奈留島内1 系統運行 (汐池線)	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、適切な目標設定及び利用促進活動に取り組んだ。	A	B	利用促進活動に取り組み、路線の維持継続に努める。	評価の指標は1便あたりの利用人数。 自己評価については、利用状況の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。
五島市地域公共交通会議	松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内1 7系統運行	渡船待合所に配布用の時刻表及び運行ルートのパンフレットを置き利用促進を図った。	A	B	利用拡大を目指し、地域住民への意向調査を実施し、運行事業者と連携し利用促進や路線の見直しに取り組む。	評価の指標は、路線毎の年間利用人数。 自己評価については、利用状況の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 利用状況の把握・分析により、公共交通を利用して頂きたい方へのアプローチと効率的運行が実施され、持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。
五島市地域公共交通会議	(株)大波止タクシー (有)西海タクシー (有)五島観光タクシー	五島市中心市街地 周辺3系統運行 (大津・小田・木場 方面)	路線図及び時刻表を病院等の施設に設置するとともに、利用満足度調査を実施し、周知徹底を図った。	A	B	利用拡大を目指し、地域住民への意向調査を実施し、運行事業者と連携し利用促進や路線の見直しに取り組む。	
五島市地域公共交通会議	(有)五島観光タクシー	五島市富江地区1 系統運行 (富江～黒瀬線)	路線図及び時刻表を病院等の施設に設置するとともに、利用満足度調査を実施し、周知徹底を図った。	A	C	地域住民への意向調査を実施するとともに、運行事業者等と連携し周知の徹底や路線の見直しを検討する。	
五島市地域公共交通会議	五島タクシー(株) (有)西海タクシー	五島市岐宿地区1 系統運行 (岐宿～川原線)	利用満足度調査を実施し、周知徹底を図った。	A	C	地域住民への意向調査を実施するとともに、運行事業者と連携し周知の徹底や系統の廃止も含め見直しを検討する。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
五島市地域公共交通会議	五島自動車(株)	五島市福江島内1 系統運行 (空港線)	五島つばき空港や福江港 ターミナルに掲示するとともに、 利用満足度調査を実施し、 周知徹底を図った。	A	B	時刻表を五島つばき空港や 福江港ターミナルに掲示する とともに、運行事業者のホーム ページに掲載することで周 知徹底を図る。		
島原市地域公共交通協議会	島原鉄道(株)	本市北部に位置する 有明地区を唯一 運行している「水分 畜産線」の維持・確 保を図る	島原鉄道におかれては、新 体制となり、他モードのアク セスを考慮したダイヤや便数 の効率的見直しや、企画乗 車券の刷新など積極的に再 生に取り組まれた。本市にお いては、本システムを含め、市民 全体をまきこんだ市内公共 交通のPR、利用促進策として 「4万人の足キャンペーン」 を実施、広報紙での周知や SNSを活用した情報発信を 行った。	A	B	目標は達成できなかったが、 平均乗車密度は前年度より 増加傾向となった。 引続き、免許返納を検討して いる高齢者などをはじめとし て自動車からの転換を促し、 島原鉄道をはじめとして、市 内公共交通事業者と一緒に なって市民全体を巻き込んだ 公共交通のPRや島原市 が本年度導入を予定してい るコミュニティバスとも連携 をとりながら、公共交通の利 用促進を図っていく。 企画乗車券の拡充を行い、 鉄道部門などでは増加の傾 向もみられたが、乗合部門 全体で行くと減少傾向であ る。企画乗車券の効果を乗 合事業にも波及させるとも に、現在の利用者の利便性 確保はもちろんのこと、定 期的に乗り上げていただける 新規利用者の掘り起こしが課 題	評価の指標は、平均乗車密度。 設定した目標を下回った結果自 己評価はBとしているが、前年度 実績比では大きく伸びており、公 共交通の利用促進の取り組みが 効果を得ていることを評価しま す。 引き続き協議会が設定する今後 の改善点が着実に実施され、持 続可能な交通ネットワークが維 持されることを期待します。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	路線バスの運行 (鷹島(阿翁浦線))	協議会や分科会等を通じて 運行事業者や地域住民と情 報交換を行っている。その他 利用促進策に係る個別のK PIについては、事業実施段 階において協議会において 検討する。	A	A	定期的に利用状況の分析を 行う。また、昼間帯や休日の 利用が少ない時間帯につい ては、路線バスから乗合タク シーへの転換等運行の効率 化を検討する。	評価の指標は、基幹系統の維持 と路線毎の収支率。 公共交通の利用促進に取り組 まれ、目標を達成されていること を評価します。引き続き利用者 のニーズ、利用実態を把握し、 継続的に協議を進めることにより、 持続可能な交通ネットワークが 構築されることを期待します。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	乗合タクシーの運 行 (阿翁浦線)	網形成計画において、鷹島 タクシーの利用者数につい ては、計画の最終年度であ る平成33年度の目標値を1 2,700人と設定している。 利用促進策に係る個別のK PIについては、事業実施段 階に協議会において検討す る。	A	B	収支率の低下とともに、利 用人員は年々減少傾向にあ るため、利用状況を分析し、 利用促進策を強化する必要 がある。	評価の指標は、交通空白地の解 消と収支率。 公共交通の利用促進に取り組 まれ、目標を達成されていること を評価します。引き続き利用者 のニーズ、利用実態を把握し、 継続的に協議を進めることにより、 持続可能な交通ネットワークが 構築されることを期待します。	
松浦市地域公共交通活性化協議会		乗合タクシーの運 行 (殿の浦線)	網形成計画において、鷹島 タクシーの利用者数につい ては、計画の最終年度であ る平成33年度の目標値を1 2,700人と設定している。 利用促進策に係る個別のK PIについては、事業実施段 階に協議会において検討す る。	A	A	収支率は目標を達成した が、利用人員は年々減少傾 向にあるため、利用促進策 を強化する必要がある。		
松浦市地域公共交通活性化協議会		乗合タクシーの運 行 (船唐津線)	網形成計画において、鷹島 タクシーの利用者数につい ては、計画の最終年度であ る平成33年度の目標値を1 2,700人と設定している。 利用促進策に係る個別のK PIについては、事業実施段 階に協議会において検討す る。	A	A	収支率は目標を達成した が、利用人員は年々減少傾 向にあるため、利用促進策 を強化する必要がある。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草市公共交通連携協議会	産交バス(株)	本渡市街地循環線(のっぴみゆうかー)の運行	本渡BCを平成31年4月から新たに運行を開始した本渡市街地近郊(本町、楠浦町)からの乗合タクシーの発着地域を含むことで、結節の向上を図った。 利用増を見込み、令和2年4月に完成予定の市複合施設「こらす」への乗入を具体的に調整しているところ。	A	B	本渡バスセンターを発着する幹線バスや他の交通モードとの結節及び施設等への乗り入れによる利便性向上について、具体的な検討を行う。 プチたびの周知や公共交通乗り方教室等の知ってもらうための取組みを継続的にを行い、輸送量の維持に努める。	評価の指標は、年間利用者数及び1便あたりの利用者数。 本渡バスセンターを交通結節点とした利便性向上に努められていることを評価します。 自己評価については、利用者減少の要因を分析するとともに利用者ニーズを把握し、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して頂きたい方に対してアプローチして頂くことをご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水路(白川水源入口・立野病院経由)高森駅前～大津駅(南口)線(H30.10.1～H30.10.31)	地域からの意見等は随時受け付けており、ニーズ把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況に合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、公共交通の確保に努めた。	A	A	復旧状況や利用者のニーズに合わせて、柔軟にルートやダイヤを見直し、より効率的で利便性の高い住民の生活公共交通及び観光客の公共交通を確保する。	評価の指標は、年間利用者数。 平成28年熊本地震の復旧状況にあわせて、柔軟に運行ルート、ダイヤを見直すことにより公共交通の維持確保に努められており、被災で運休している地獄・垂玉線以外の5系統が目標達成していることを評価します。 協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水路(白川水源入口経由)高森駅前～大津駅(南口)線(H30.10.1～H30.10.31)		A	A			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス久木野ルート(あそ望の郷・阿蘇ファームランド)経由)高森駅前～アテンホテル阿蘇線(H30.10.1～R1.9.30)		A	A			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水路(白川水源入口・立野病院経由)高森駅前～大津駅(南口)線(H30.11.1～R1.9.30)		A	A			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水路(白川水源入口経由)高森駅前～大津駅(南口)線(H30.11.1～R1.9.30)		A	A			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水路(白川水源入口経由)高森駅前～大津駅(南口)線(H30.11.1～R1.9.30)		A	A			
南阿蘇村公共交通連携協議会	(有)阿蘇観光タクシー (有)高森駅前タクシー (共同運行)	・地獄・垂玉線(下田城ふれあい温泉駅～地獄・垂玉温泉間) ・予約制 ・熊本地震の影響により運行休止中(H30.10.1～R1.9.30)		平成28年熊本地震以降、地獄・垂玉への道路が不通のため運行休止となっている。	-			-

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
合志市地域公共交通協議会	熊本電気鉄道(株)	レターバス	合志市内スーパーやコンビニへのガイドブックの設置、バスの乗り方教室の実施や既存のサービスを行い、新規利用者の掘り起こしを行った。また、公共交通以外の出前講座やサロン等での案内を行った。住民説明会も開催し、参加者とともに今後の公共交通のあり方について話合った。	A	C	目標値に対し、結果は下回っているため、利用者増加のため、更なる公共交通利便性の向上を図ると共に利用促進に向け周知啓発等を積極的に行う。再編実施計画に基づき、特に運行形態の見直しや、今後、重複路線の解消を目指す。なお、運行単価増による委託費が増加傾向にあるため、再編計画を視野に入れた交通網の見直し等を行うこと目指す。また、高齢化に伴う合志市の公共交通のあり方についても、市民の要望をふまえて推進していきたい。	評価の指標は、①市内外の移動での円滑な乗り継ぎに関する市民の満足度、②年間利用者数、③公共交通機関の利用割合、④市民1人あたりの運行委託料。継続してバスの乗り方教室の実施、公共交通以外の出前講座を活用した周知活動を行うとともに住民説明会を開催するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。4項目の目標を達成できなかったため事業評価はCとなっており、利用者は前年度より増加しています。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。次年度に実施予定の再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。	
合志市地域公共交通協議会	熊本電気鉄道(株)	レターバス (左回り平日1便目)						
合志市地域公共交通協議会	熊本電気鉄道(株)	日向・新迫線						
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	水俣駅・葛彩館線 水俣駅前～水俣市役所・渡野～葛彩館	一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。乗降調査、アンケート調査により利用状況や、利用者のニーズについて調査を実施した。	A	A	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、沿線住民との意見交換等を通して、利用者が使いやすい路線となるよう見直しを行う。	評価の指標は、年間利用者数減少率。モビリティマネジメントの取組として、バスの利用方法を知らない子供達にバスに親しみを持ってもらうための乗り方教室を継続して開催されたことや、バス路線紹介、乗り方のページを含んだ時刻表を作成し、全戸配布が行われた取組について評価します。自己評価については、利用者の減少が大きな系統があることから、今年度実施されたアンケート調査や、今後行う住民との意見交換を通して、その要因を分析していただき、ニーズにあった交通体系の整備に繋げていただくよう期待します。協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、次年度予定されている高齢者を対象とした乗り方教室等のモビリティマネジメントにより、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	水俣駅・大川線 水俣駅前～深川・愛林館前～大川	一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。乗降調査、アンケート調査により利用状況や、利用者のニーズについて調査を実施した。	A	C	運行時間が約1時間と長いいため、一部改善の要望も上がっている。利用者のニーズとのミスマッチが生じているため、沿線住民との意見交換等を通して、利用者が使いやすい路線となるよう見直しを行う。		
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	流合橋経由招川内・茂道線 招川内～流合橋・水俣駅前～茂道漁港	一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。乗降調査、アンケート調査により利用状況や、利用者のニーズについて調査を実施した。	A	A	目標値は達成しているものの、一部時間帯において利用者ニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、沿線住民との意見交換等を通して、利用者が使いやすい路線となるよう見直しを行う。		
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	頭石経由招川内・茂道線 招川内～頭石・水俣駅前～茂道漁港	一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。乗降調査、アンケート調査により利用状況や、利用者のニーズについて調査を実施した。	A	A	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、沿線住民との意見交換等を通して、利用者が使いやすい路線となるよう見直しを行う。		
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	木臼野経由 水俣市役所・水俣駅線 水俣市役所～梅戸・木臼野～水俣駅前	一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。乗降調査、アンケート調査により利用状況や、利用者のニーズについて調査を実施した。	A	C	市街地を循環して木臼野に運行しており、運行距離も長いので路線のあり方についても今後検討していく。		
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	水俣市役所・木臼野線 水俣市役所～梅戸・茂川～木臼野上	一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。乗降調査、アンケート調査により利用状況や、利用者のニーズについて調査を実施した。	A	C	利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、沿線住民との意見交換等を通して、利用者が使いやすい路線となるよう見直しを行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会	(有)ながすタクシー	長洲町予約型乗合タクシー(きんぎょタクシー)の運行(長洲町内全域及び荒尾市の特定施設)	公共交通マップや運転免許返納者への無料乗車券交付制度を活用し、利用促進を図った。	A	A	利用者が増加しているため、引き続き利用実態を把握しながら、効率的な輸送サービスを検討していく。	評価の指標は、年間利用者数及び財政負担の維持・抑制。免許返納者無料乗車券の有効期限を半年間から1年間に延長された取組について評価します。自己評価については、年間利用者、財政負担とも目標を達成していますが、財政負担については年々増加しているため、利用実態の詳細な分析を継続し、財政負担抑制の取り組みに繋げることをご検討ください。協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、今後の取組が着実に推進されることにより、利便性と効率性のバランスの取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
宇城市地域公共交通会議	産交バス(株)	三角産交～三角西港～さんばー間の運行	生活交通路線及び観光路線として、JR三角線と適切な接続を維持し、利用促進に努めることで運行維持を図った。	A	B	他系統との役割を明確にし、沿線自治体の上天草市及び運行事業者と連携し、システムの効率化をさらに推進する。	評価の指標は、収支率。JR三角線発着ダイヤと調整を行い、地域住民や観光客の移動手段の確保を図った取組について評価します。自己評価については、収支率30%以上という目標が達成できていないことから、更なる利用促進の取組実施について期待します。協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、今後、予定されている隣接自治体との連携による系統効率化や、インバウンド向けの取組により、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
益城町地域公共交通会議	熊交観光タクシー(株) (有)光洋タクシー	福田地区～木山産交バス停・木山上町・惣領の予約型運行(1日4便。日曜祝日年末年始は運休)	前年度行った事業対象地域住民へのアンケート及びヒアリングを基に、停留所の追加や便数の増便について検討を行った。	A	C	対象地域住民より希望のあった便数の増便や停留所の増設について、関係事業者の意向も踏まえながら進めていく。併せて、地域への説明会等の広報活動を通して、事業の周知や改善点を把握する。	評価指標は、月平均の利用者数。テクノ仮設団地経由の2系統について、仮設住宅の退去に伴う便数の調整を行い、運行ダイヤの調整にあたっては、事前説明会や乗込み調査を実施し、取組に反映されている点について評価します。自己評価については、乗合タクシーの月平均利用者数が目標を大きく下回っていることから、地域住民の移動実態、ニーズを把握する取組の継続や更なる利用促進を図る取組についてご検討ください。仮設住宅の集約や災害公営住宅の完成後における利用者ニーズに対応した路線の再編により、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
益城町地域公共交通会議	産交バス(株)	①益城役場線 テクノ団地～役場仮設庁舎前～木山産交 (1日9～11便、年末年始は特別ダイヤ) ②広安循環線 テクノ団地～馬水団地・古閑入口・馬水団地～テクノ団地 (1日14～15便、年末年始は特別ダイヤ)	仮設住宅の退去に伴う利用者の減少に併せて、便数の調整を行った。また、利用者の声を反映した運行ダイヤの見直しを行った。	A	B	災害公営住宅等、復興に向けた新たな住宅エリアへの対応と仮設住宅の集約を考慮した路線の再編等を進めていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇土市地域公共交通会議	【宇土市ミニバス】 ・(有)西田タクシー ・(有)中川タクシー ・宇城タクシー(有) 【宇土市コミュニティバス】 ・産交バス(株)	【宇土市ミニバス】 ・宇土北部線 ・網津・緑川線 ・轟線 ・花園北部線 ・花園南部線 【宇土市コミュニティバス】 ・循環線外回り ・循環線内回り	住民の利便性向上及び公共交通の周知のため、宇土産業祭時のコミュニティバス「行長しゃん号」1日無料運行の実施と令和元年9月号の「広報うと」での利用案内といった周知広報を実施した。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。ただし、市の最上位計画である第6次宇土市総合計画が策定され、コミュニティバスとミニバスの年間の利用者数それぞれ10,016人と6,069人というこれまでと比べ高い目標値が設定されているため、今後もより利用者を増やす取り組みが不可欠でありルートの不断の見直しが必要がある。	評価の指標は、1日当たり利用者数。より多くの方に公共交通を利用いただくために、コミュニティバスの1日無料運行を実施され、広報誌による周知・広報が行われた取組について評価します。自己評価については、コミュニティバス、ミニバスともに事業の目標を達成されていますが、宇土市総合計画で新たに設定された目標についても達成できるように、更なる利用促進の取組についてご検討ください。協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、今後、予定されている取組が着実に実施されることで、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
阿蘇市地域公共交通会議	(株)りんどうタクシー (有)阿蘇エースタクシー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民の利便性の向上及び制度の周知のため利用ガイドを配布した。	A	A	事業は適切に実施されており、かつ目標・効果も達成できている。今後も地域住民のための移動手段として利便性の向上を図り、更なる利用者数の増を目指す。	評価の指標は、月平均利用者数。地域住民の利便性向上と制度の周知のため、利用ガイドを配布し啓発を行った取組について評価します。自己評価については、事業の目標を達成できておりますが、更なる利用者増加のため、利用状況の分析や利用者ニーズ把握のための取組についてご検討ください。協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、今後、予定されている福祉関係部門と連携した利用促進活動等により、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。	
上天草市地域公共交通会議	産交バス(株)	三角西港経由 三角産交・さんばーる線の運行	利用者の利便性向上を図るため、平成31年4月に同区間での乗降調査を実施。同年10月からのダイヤ見直しを実施。	A	C	本系統は、平成27年7月に世界遺産登録された三角西港を経由するルートとなっており、生活交通に加えて観光目的の利用を期待できるものの、世界遺産登録から4年が経過し、輸送人員が減少傾向に転換したことから、その効果が薄まりつつあると考えられる。そのため、平成31年4月に実施した乗降調査等を踏まえ、令和元年10月からのダイヤ見直しを行うこととした。	評価指標は、収支率(三角産交・さんばーる線)と年間輸送人員(登立循環線)利用者ニーズの把握・分析を行ったダイヤ見直しを実施された点や、運転免許返納者に対する交通系ICカードの配付、バス事業者と連携した乗り方教室の開催等、利用促進の取組について評価します。自己評価については、目標未達成であることから、令和元年10月に行ったダイヤ見直しの効果について検証する取組についてご検討ください。今後、実施される利用状況の把握と利用促進策により、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
上天草市地域公共交通会議		治郎田・宮島経由 登立循環線の運行	バスの利用促進を図るため、令和元年7月から免許返納者に対し、くまモンのICカードを配付する事業を開始し、8月には産交バスと連携し、Sunまりんバスを活用したバスの乗り方教室を開催した。	A	C	本系統は、定額運賃の循環路線であり、その利便性を今後も広報周知を行っていくと共に、利用者の利用状況等を鑑みながら、幹線バスやその他路線バスとの接続性も検討し、引き続き利便性の向上に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、 平和タクシー(有)、 (有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合 タクシー(平井地 区)の運行	利用者の利便性向上を図る ため、利用ニーズを踏まえ、 特定乗降場所として荒尾市 民病院を追加した。	A	C	利便性に関する満足度及び 利用者数の増加を図るた め、利用実態を把握すると ともに、運行サービスの拡充 や利用方法の周知強化など により利用者促進を図る。	評価の指標は、利便性に関する 満足度、路線バス・乗合タクシ ーの年間利用者数。 公共交通への転換可能性が高 い世代へのモビリティマネジ メント実施により、利用促進を図 った取組について評価します。 自己評価については、達成でき ていない各目標について、その 要因を分析されるとともに、利 用者ニーズを把握したうえで、今 後の取組に繋げていくことをご検 討ください。 利用実態の把握と利用促進の取 組により、各モードの調和がと れ、利便性と効率性のバランス がとれた持続可能な交通ネッ トワークが構築されることを期待し ます。	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、 平和タクシー(有)、 (有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合 タクシー(府本 地区)の運行	利用者の利便性向上を図る ため、利用ニーズを踏まえ、 特定乗降場所として荒尾市 民病院を追加した。	A	C	利便性に関する満足度及び 利用者数の増加を図るた め、利用実態を把握すると ともに、運行サービスの拡充 や利用方法の周知強化など により利用者促進を図る。		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	住吉線の運行	持続可能な交通ネットワー クを構築するため、公共交通 への転換可能性が高いと見 込まれるアクティブシニアを 対象としたモビリティマネジ メントを実施し、利用促進を 図った。	A	C	利便性に関する満足度及び 利用者数を増加させるため、 引き続き、個々の生活パター ンに合った公共交通の利用 提案書を提供するなどのモ ビリティマネジメントを実施 する。 また、バスの利便性に関す る情報発信を行う。		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	助丸線の運行	持続可能な交通ネットワー クを構築するため、公共交通 への転換可能性が高いと見 込まれるアクティブシニアを 対象としたモビリティマネジ メントを実施し、利用促進を 図った。	A	C	利便性に関する満足度及び 利用者数を増加させるため、 引き続き、個々の生活パター ンに合った公共交通の利用 提案書を提供するなどのモ ビリティマネジメントを実施 する。 また、バスの利便性に関す る情報発信を行う。		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	八幡台線の運行	持続可能な交通ネットワー クを構築するため、公共交通 への転換可能性が高いと見 込まれるアクティブシニアを 対象としたモビリティマネジ メントを実施し、利用促進を 図った。	A	C	利便性に関する満足度及び 利用者数を増加させるため、 引き続き、個々の生活パター ンに合った公共交通の利用 提案書を提供するなどのモ ビリティマネジメントを実施 する。 また、バスの利便性に関す る情報発信を行う。		
玉名市地域公共交通会議	(有)岱洋タクシー 玉名タクシー(有) (有)高瀬合同タク シー (有)アトム	(1)滑石・岱明地域 (2)大浜・横島地域 ※いずれも予約制 乗合タクシー	公共交通マップ等で情報提 供の充実を図るとともに、運 行地域に対する乗り方説明 会や補助対象事業者を通じ て利用者ニーズの把握に努 めた。	A	C	乗り方説明会等で把握した 利用者ニーズの具現化に向 け可能な限り運行内容の見 直し検討を行う。	評価の指標は、年間輸送人員。 公共交通マップでの情報提供 による利用促進や、地域での説 明会、主な利用者との意見交 換による利用者ニーズの把握 に努めた取組について評価し ます。 自己評価については、乗合タク シーの輸送人員について、目 標には達していないものの順 調に推移していることから、利 用促進の取組により、更なる利 用者の増加に繋がることを期 待します。 協議会が日々の公共交通の 利用、取組の情報を認知する 場として活用され、今後、利 用状況の把握、利用者の意見 聴取等を継続的に実施し、必 要な見直しを行っていただく ことで、利便性と効率性のバ ランスがとれた持続可能な交 通ネットワークが構築される ことを期待します。	
玉名市地域公共交通会議	産交バス(株)	(3)九州看護福祉大 学経由玉名 駅・新玉名駅線 (4)玉名市街地循環 線	公共交通マップ等で情報提 供の充実を図るとともに、補 助対象事業者及び当該対象 事業の主な利用者である九 州看護福祉大学と定期的に 意見交換を実施し、必要な 変更を行った。	A	B	引き続き、定期的な意見交 換を実施し、利用者ニーズの 把握に努めるとともに、必要 に応じ運行内容の見直し検 討を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津奈木町地域公共交通会議	むつみ交通(株)	津奈木町内全域及び水俣市内の特定施設間を運行	<ul style="list-style-type: none"> 回数券の発行 町内3,000円(300円券11枚綴り)・町外8,000円(800円券・11枚綴り)の販売を引き続き行い、利用促進、利便性の向上を図った。 新規利用登録者に対してお試し乗車券(町内行き回数券3回分)を配布する事業を実施し、利用者増加策を図った。 自動車運転免許証の自主返納者に対して、町内行き回数券(300円券11枚綴り)を2セット配布し、高齢ドライバーの事故防止策と高齢者の交通手段の確保維持を図るとともに、つなぎタクシーの利用促進を図った。 つなぎタクシーの利用方法を紹介する記事を町広報誌に掲載し、制度の周知強化と利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス及び鉄道との結節(乗継)を推進し、相互の利用者数の増加、利便性の向上を図る。 利用方法等についての周知、情報提供をさらに充実させ利用者の増加を図る。 住民アンケート等を行い利用者ニーズの把握を行う。 運転免許証の自主返納者に対する特典事業を引き続き実施するとともに、新たな特典事業を展開し、新規利用者の掘り起こしを行う。 	<p>評価の指標は、公共交通カバー率及びつなぎタクシーの1日当たり利用者数。 回数券発行、お試し乗車券配布、運転免許証返納者への回数券配布等による利用促進を図る取組について評価します。 自己評価については、目標未達成であったつなぎタクシーの利用者数に関して、利用実態の把握・分析を行う取組についてもご検討ください。 協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、今後、更なる利用促進策や利用者ニーズの把握を通じた改善策の実施により、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	東町線(区域)の運行	<p>地域版公共交通マップ、乗継時刻表、利用啓発冊子の全戸配布により路線バスと合わせた利用啓発を実施。沿線地域を対象としたMMを合わせて実施。 小学生の通学・社会体育への移動需要に合わせて産島線を見直し。</p>	A	C	<p>利用者は目標値に到達しなかったものの、前年度と比較して利用者の増加が見られる。特に、平和町線については路線バス運行時(平成29年度:6,389人)を上回る利用者数となった。 乗合タクシーの利用方法等の周知により利用者の新規開拓の余地がまだあるものと考えられる。沿線地域への「公共交通だより」発行や出前講座の実施を通じて「利用方法」「利用のメリット」を伝える周知活動を実施していく。</p>	<p>評価指標は、系統ごとの年間利用者数。 産島線について、小学生の移動需要に合わせた見直しを行っていること、利用促進のための地域版の公共交通マップ・乗継時刻表・利用啓発冊子の全戸配布、モビリティマネジメントの実施など様々な取組を実施されていることを評価します。 自己評価については、利用者は目標に達していないものの、利用者は増加しているため、各系統の利用実態を詳細に分析し、更なる利用者の増加に繋げていただくことを期待します。 今後、継続して利用促進の取組を実施していただくとともに、次期、公共交通網形成計画(地域公共交通計画)の策定とその実施により、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	産島線(区域)の運行				C		
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	平和町線(路線定期)の運行				B		
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	日奈久～坂本線(区域)の運行				A		
和水平地域公共交通会議	(有)高瀬合同タクシー	菊水線	<p>三加和線系統の利用登録者が全体の3割に満たないことから、当該系統の利用登録を重点的に促進するため、①人が集まるイベントや会合等に向いて利用方法等の説明を行った。 ②啓発グッズ(ポケットティッシュ)を作成・配布した。</p>	A	C	<p>H30.10に運行内容を見直したことで、利用者の利便性が高まり、利用件数は大きく増加した。引き続き利用者のニーズを把握しながら、利便性向上を図っていく。</p> <p>登録者については増加率が鈍化してきていることから、今後は、地元区長等と連携を図り、地域の会合に向く等、さらにきめ細かな利用啓発活動を行っていく。</p>	<p>評価の指標は、おでかけ交通の登録者数及び利用件数。 アンケート結果を踏まえた運行時間の変更・乗降場所の追加や、会合・イベントでの利用啓発、啓発グッズの作成の取組について評価します。 自己評価については、利用者数は増加しているものの、登録者数、利用者数とも目標には達していないため、各系統の利用実態について詳細に分析し、後の対応策へ繋げていく取組をご検討ください。 協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、地域と連携をとりながら、利用実態と利用ニーズを把握し改善を図ることで、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
和水平地域公共交通会議	(有)三加和タクシー	三加和線	<p>H30.4に実施した利用者アンケートの結果を踏まえて、H30.10より ①乗降場所を新たに10か所設けて、18か所とした。 ②運行時間を午前8時30分から午後5時までに拡大した(変更前の運行時間:午前9時～正午、午後1時～午後5時)。</p>	A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
山江村地域公共交通会議	山江村	乗合タクシーまるおか号(山田線・万江線・山江線)	利用方法等の情報発信を行った。 更なる利用促進・利便性向上を図るため、利用者を対象としたアンケート調査を6月に字だけでなく未利用者も対象として村内全世帯へアンケート調査を実施した。	A	A	山江村においては、高齢者の利用者数は、増加しているが、子供の利用が少ないので、もっと効率的で利便性が高い地域公共交通体系を構築する。 なお、平成29年10月から区域運行を実施し、病院やスーパーマーケット等に停留所を増設している。また、利用状況や利用者の意見、交通事業者への影響などを検証する。	評価の指標は、年間の利用者数と利用者満足度。 広報やケーブルテレビ、区長文書等を活用した情報発信や、利用促進・利便性向上を図るための全世帯を対象としたアンケート調査を実施されたことについて評価します。 自己評価については、更なる利用者増加のため、各系統の利用実態について詳細な分析を行う取組についてご検討ください。 協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、今後、実施される若い世代や観光客などを含めた利用促進、わかりやすい公共交通マップ・時刻表の作成等の取組を通じて、利便性と効率性のバランスが取れた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 黒沢・岸河内線	地域内での利用促進の聞き取り調査を実施した。	A	B	利用促進を図るため、引き続き啓発活動を行う。	評価の指標は、全路線の1便あたりの平均利用率。 平成30年10月の大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき路線再編に取り組みされていることを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。 また、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 大入島線	地域内での利用促進の聞き取り調査を実施した。	A	B	利用促進を図るため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 床木線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 大間線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	C	利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 直川線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	C	利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 久保線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 山梨子・切畑線1	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	C	利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 山梨子・切畑線2	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	C	利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 本匠線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 下直見線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	C	利用促進を図るため、大分バス路線との乗り継ぎ等の啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 鶴見線1	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。大分県南部圏地域公共交通再編実施計画により、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 鶴見線2	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 野崎線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	C	利用促進を図るため、啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 米水津線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 仲川原線	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 波当津線1	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 波当津線2	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線1	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線2	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線3	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線4	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線5	大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき、コミュニティバス路線と大分バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指した。	A	A	目標達成しているが、継続的な利用を促進するため、引き続き啓発活動を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目デマンド線	利用促進を図る為、チラシの配布を行った。	A	C	利用促進を図るため、啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 旧定時定路線	利用促進を図る為、チラシの配布を行った。	A	C	利用促進を図るため、啓発活動を行う。併せて地域内での利用促進の聞き取り調査を実施する。		
九重町地域交通協議会	九重町 九重縦断豊後中村線	塚脇～恵良駅～飯田交流センターの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	平成30年10月に再編し九重縦断線へ統合し運行を行っている。	評価の指標は、系統ごとの乗車人数。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。また、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。 今後も平成30年10月の九重町地域公共交通再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。	
九重町地域交通協議会	九重町 九重縦断豊後中村線	飯田交流センター～豊後中村駅～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 九重縦断豊後中村線	牧ノ戸峠～豊後中村駅～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 九重縦断豊後中村線	牧ノ戸峠～豊後中村駅～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 九重縦断豊後中村線	九重登山口花山峠～豊後中村駅～塚脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 九重縦断豊後中村線	九重登山口みやま～豊後中村駅～塚脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株) 中央病院～津久見駅線	中央病院～津久見駅線の運行	年末年始の運行ダイヤについて全戸回覧を行い、バス停に掲示するなど運行に関する周知を行った。	A	A	今年度事業で体験試乗会等を実施できなかったが、次年度以降行い、地域の声を聴きながら、利用促進の取組を行う。		
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 落の浦～大浜線 落の浦～蒲戸線	落の浦～大浜線 落の浦～蒲戸線の運行	年末年始の運行ダイヤについて全戸回覧を行い、バス停に掲示するなど運行に関する周知を行った。	A	A	乗降調査等を実施し、利用者の声を十分に聴き、より効率的な運送サービスを検討していく。 利用状況によっては予約制を検討。		
津久見市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 路線バス17系統	路線バス17系統の運行	わかりやすい時刻表の作成に努め、全戸に配布を行った。	A	B	路線バスの乗降者の状況を乗降調査等を通じて把握し、地域での説明会等の中で、より効果的な情報提供に努め、利用促進に取り組む。時刻表作成には、各々の交通機関の意見を取り入れながら、わかりやすい時刻表作成に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 A コース	日田～玉川～中ノ 島～竹田新町～日 田の循環コースを 運行	住民に寄り添った交通網の 形成を進めるため、地域座 談会を延べ25地区で開催。 バス事業者及び住民延べ 396名が参加し路線バスの 現状(利用状況、収支率)や 課題について意見交換を 行った。 また、9月20日の「バスの日」 に合わせ、ひたはしり号につ いては1日無料乗車体験を 実施した。 座談会やイベントの開催に おいて路線バスの利用促進 を行う一方で、今後の住民の 移動手段の確保に向けて路 線バス以外の交通モードを 住民に紹介し、地域における 適正な公共交通のあり方につ いても、交通事業者、住民 と意見交換を行った。	A	B	地域座談会では、ひたはしり 号を利用したいが居住地区 を運行していないので路線 の延伸を希望するといった声 が多かった。平成28年度の 運賃100円実証実験開始以 降、ひたはしり号の認知度は 高まり昨年度は利用者数も 増加したが、一時的な利用 者が多く今年度は減少したと ころである。しかしながら、実 証実験以前の利用者数と比 較すると増加しており、継続 的な利用者の確保に向け て、今後運行ルート、ダイヤ とともに抜本的な見直しを図 る必要がある。 夜間・杷木循環線について は、1便あたりの利用者数が 2.23人となり、非常に利用者 が少なかった。利用者が極 端に少ない状況は近年続い ており、事業の有効性を考慮 すると、今後廃止も視野に見 直しを図る必要がある。	評価の指数は、年間利用者数 対H29年比。 地域座談会の開催、「バスの日」 に合わせたひたはしり号の1日無 料乗車体験の実施など利用促進 に取り組まれていることを評価し ます。 自己評価については、利用者減 少の要因を分析するとともに利 用者ニーズを把握し、子ども、学 生、高齢者など公共交通を利用 して頂きたい方に対してアプロ ーチして頂くことをご検討願いま す。 引き続き協議会が設定する今後 の改善点が着実に推進されるこ とにより持続可能な交通ネット ワークが構築されることを期待し ます。	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 B コース	日田～城内団地～ 市役所前～日田の 循環コースを運行						
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 C コース	日田～玉川～石井 ～誠和町～日田の 循環コースを運行						
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 D コース	日田～豆田町～朝 日町～清岸寺町～ 城町～日田の循環 コースを運行						
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 夜明循環線	日田～玉川～夜明 ～川下～竹田新町 ～日田の循環コー スを運行						
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 杷木循環線	日田～玉川～夜明 ～杷木～川下～竹 田新町～日田の循 環コースを運行						
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 五馬線	日田～小淵～花香 ～近原～中村～五 馬入口のコースを 運行	利用実態及びバス事業者の 運転手不足に対応するた め、平成31年4月1日にダイ ヤ改正を行った。平成30年 度と比較して利用者数は2路 線で微増となったが全体的 な利用者数は少ない。当該 系統運行地区についても上 記同様、座談会を開催し意 見交換を行った。	A	B	今後も地域座談会等で住 民、交通事業者と随時意見 交換を行い、ニーズに応じた ダイヤの設定を行うなど利 用促進に努めていく。またあ わせて上記同様、事業の有効 性を考慮し適正な交通モード のあり方を検討していく。		
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 大野線	日田～沈橋～中川 原～大野～座目木 のコースを運行						
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 出野線	日田～高瀬農協前 ～松金～出野～星 弘のコースを運行						
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株) 野津タクシー(有)	既存コミュニティバ ス利用者数【城崎 線、白岩線、上松 線、六ヶ追線、佐志 生線、東神野線、 西神野線、市内循 環線、南野津・東谷 線】	乗降調査結果を基に利用促 進及び路線見直しのための 地域住民主導の検討会を開 催した。新たな交通網として デマンドタクシーの実証運行 検討会を開催した。	A	B	ジャンボタクシー路線の路線 見直し及び中型バス路線の 小型化の検討及びデマンド タクシー実証運行の検証を 行う。	評価の指数は、利用者数、利用 率。 路線見直しのための地域住民主 導検討会の開催、利用者に路線 毎の路線図、時刻表を作成し、 地域説明会等で配布するなど利 用促進に取り組まれていること を評価します。 自己評価については、利用者の 増加・減少の要因を分析しそ こから対応策に繋げていくこと をご検討願います。引き続き協 議会が設定する今後の改善点 が着実に推進されることによ り持続可能な交通ネットワーク が構築されることを期待しま す。	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株) 野津タクシー(有)	既存コミュニティバ ス利用率	乗降調査結果を基に利用促 進及び路線見直しのための 地域住民主導の検討会を開 催した。新たな交通網として デマンドタクシーの実証運行 検討会を開催した。	A	B	ジャンボタクシー路線の路線 見直し及び中型バス路線の 小型化の検討及びデマンド タクシー実証運行の検証を 行う。		
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	民間路線バス利用 者数【中津浦線、 泊ヶ内線、割後場 線】	バス事業者と利用促進につ いて随時検討を行った。利用 者に路線毎の路線図、時刻 表を作成し、地域説明会等 での配布を行った。	A	C	引き続きワーキング会議で バス事業者と利用促進につ いて検討していくとともに、地 域説明会でも意見聴取を 行っていく。		
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	民間路線バス利用 率	バス事業者と利用促進につ いて随時検討を行った。利用 者に路線毎の路線図、時刻 表を作成し、地域説明会等 での配布を行った。	A	C	引き続きワーキング会議で バス事業者と利用促進につ いて検討していくとともに、地 域説明会でも意見聴取を 行っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	年間利用者数	バス事業者とのワーキング会議で利用促進について検討を行った。	A	B	引き続きワーキング会議でバス事業者と利用促進について検討していくとともに、地域説明会でも意見聴取を行っていく。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:まちなか循環バス 事業者名:玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、町中の主要施設(役場、商店、医療機関、金融機関等)を循環し運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	B	目標の91%程度しか達成できなかった。利用者の利便性を考え、乗車、降車をしないバス停について、調査をし住民のニーズにあった乗降箇所を検討したい。	評価の指数は、利用者数。総合時刻表の作成により、バスの乗り継ぎ方法を分かりやすくするなど利用者の利便性を高め、利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。今後も平成31年3月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。また、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:小型乗合バス(岩室線) 事業者名:大交タクシー	書曲三～下長野の運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	B	目標の86%程度しか達成できなかった。利用者の利便性を考え、地元住民がわかりやすいバス停を整備するとともに、乗車、降車をしないバス停について、調査をし、バス停の位置などの見直しを行っていききたい。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(伐株線) 事業者名:玖珠町	唐杉～福祉センターの運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	A	概ね目標は達成できたが、今後もさらなる利用者の増を図る必要がある。地元住民がわかりやすいバス停を整備するとともに乗車、降車の内バス停の見直しを行っていききたい。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(小田線) 事業者名:玖珠町	小田～福祉センターの運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	C	目標の70%程度しか達成できなかった。利用者の利便性を考え、地元住民がわかりやすいバス停を整備するとともに、乗車、降車の少ないバス停については見直しを行っていききたい。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(山浦線通学便) 事業者名:玖珠町	古園から豊後森駅の運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	B	目標の70%程度しか達成できなかった。利用者の利便性を考え、地元住民がわかりやすいバス停を整備するとともに乗車、降車をしないバス停について、調査をし、バス停の位置などの見直しを行っていききたい。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(山浦線ふれあい便) 事業者名:玖珠町	古園から福祉センターの運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	A	概ね目標は達成できた。地元住民がわかりやすいバス停を整備するとともに乗車、降車の内バス停の見直しを行っていききたい。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(日出生線通学便) 事業者名:玖珠町	日出生～豊後森駅の運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	B	目標の82%程度しか達成できなかった。利用者の利便性を考え、地元住民がわかりやすいバス停を整備するとともに、乗車、降車をしないバス停について、調査をし、バス停の位置などの見直しを行っていききたい。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(日出生線ふれあい便) 事業者名:玖珠町	尾内～運動公園の運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	B	目標の90%程度しか達成できなかった。利用者の利便性を考え、地元住民がわかりやすいバス停を整備するとともに、乗車、降車をしないバス停について、調査をし、バス停の位置などの見直しを行っていききたい。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(小野原線) 事業者名:玖珠町	小野原～運動公園の運行	利用促進のため、広報や玖珠町HPに路線図や時刻表を掲載した。	A	C	目標の70%程度しか達成できなかった。利用者の利便性を考え、地元住民がわかりやすいバス停を整備するとともに乗車、降車をしないバス停について、調査をし、バス停の位置などの見直しを行っていきたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	八坂線	杵築市公共交通総合時刻表による地域住民への周知を行うとともに高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。 また、免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	A	目標は達成することはできなかったが、さらなる利用者の増加を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	評価の指数は、1便当りの利用者数。 公共交通総合時刻表による地域住民への周知、ケアマネージャー等を通じた高齢者への乗合タクシー登録の声掛けなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標値を下回っている系統があることから、利用者ニーズの把握に努めることにより協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	北杵築線		A	C	目標達成は叶わなかったが、目標値を大きく上回る実績の月も存在するため、利用促進のさらなる周知を行い、1便当たりの利用者数2.5人以上となるように努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築国東合同タクシー(株)	東線		A	C	目標達成は叶わなかったが、昨年度より稼働率が上がっているため、事業が浸透しつつあると考えられる。その為、さらなる周知を行い、登録・利用者を増やし、1便当たりの利用者数2.0人以上となるように努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築国東合同タクシー(株)	大内線		A	C	目標達成は叶わなかったが、昨年度より稼働率が上がっているため、事業が浸透しつつあると考えられる。その為、さらなる周知を行い、登録・利用者を増やし、1便当たりの利用者数1.5人以上となるように努めたい。		
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	豊後大野市(大野竹田バス(株))	<清川町> 通学西小線、清川・市民病院線の運行 <緒方町> 南部東線、南部西線、上緒方線、小富士線、長谷川線、上緒方・小富士線、長谷川・南部線の運行 <朝地町> 朝地・市民病院線、北部幹線、鳥屋線、近地・普光寺線の運行 <大野町> 古殿線、貫原線、木浦畑線、岩杉線、沢田線、牧原・広戸線、藤浪線、田中・市民病院線の運行 <千歳町> 下山・前田線、高柴線、船田線、石田・大高線の運行	利用者の伸び悩んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B	利用者が落ち込んでいる地域を中心に、利用促進を積極的に行っていく。(各地域のコミュニティカフェ等との連携) また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。 分かりやすい公共交通の情報提供として、地域別にきめ細かく具体的利用方法を紹介したチラシの作成等を行う。	評価の指数は、1人当たり運行コスト、利用者満足度調査、利用者数。 大分大学、三重総合高等学校(市内唯一の高校)との共同による社会実験「大人の社会見学」を毎年実施するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、利用者減少の要因を分析するとともに利用者ニーズを把握し、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して頂きたい方に対してアプローチして頂くことをご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	豊後大野市(豊後大野市タクシー協会)	<p><三重町> 川辺・向野線、小坂線、山田線、内田線、菅尾線、あいのりタクシーの運行</p> <p><清川町> 通学東小線、あいのりタクシーの運行</p> <p><緒方町> 長谷川線、上緒方・小富士線、長谷川・南部線の運行</p> <p><朝地町> 鳥屋線、近地・普光寺線、綿田線、臼木線、小川野・志屋線、梨原線、南部幹線、田夫時線の運行</p> <p><犬飼町> 高津原線、田原・戸上線、西寒田線、宇津尾木線の運行</p>	利用者の伸び悩んでいる三重町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、三重地域の利用促進につなげた。	A	B	利用者が落ち込んでいる地域を中心に、利用促進を積極的に行っていく。(各地域のコミュニティカフェ等との連携) また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー制度に基づく区間廃止、バス廃止、運行形態の変更(デマンドへの移行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。 分かりやすい公共交通の情報提供として、地域別にきめ細かく具体的な利用方法を紹介したチラシの作成等を行う。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)岐部線 [申請番号1]	伊美～上岐部(国見中経由)		A	A	平成26年度より開始した利用助成券を用いた運賃割引制度を引き続き行うとともに、路線周域の住民に制度の周知徹底を図る。	評価の指数は、年間輸送人員。市の広報誌を活用し市民へ公共交通の現状や、将来にわたって維持する取組について周知されていること及び路線バスの回数乗車券購入者に利用助成券の交付する取組を引き続き実施するなど利用促進に取り組みされていることを評価します。 目標値を大きく下回っている系統があることから、利用者ニーズの把握に努めることにより協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号2]	国東～竹田津港(伊美港経由)		A	C	また、平成31年4月より利用助成券の利用可能な事業者を拡大し、市域を超えて運行する幹線系統の路線バスと域内の路線バス・コミュニティバス・コミュニティタクシーの乗継利用者の運賃負担軽減と利便性向上を図り、乗車人員の維持を図った。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号3]	国東～伊美(国見中経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号4]	中の迫～伊美(岐部経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号5]	中の迫～伊美小(岐部経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号6]	国東～伊美(小原経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号7]	国東～伊美(伊美港経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)赤根線 [申請番号8]	伊美～赤根(国見中町経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)西方寺線 [申請番号9]	伊美～西方寺(国見中町経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)豊崎線 [申請番号10]	国東～稲川(国中・小原経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)豊崎線 [申請番号11]	国東～稲川(小原経由)	地域協働推進事業(計画期間：平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。	A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)豊崎線 [申請番号12]	国東～行入(小原経由)	また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。利用者への聴き取り調査も引き続き実施した。	A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)上国崎線 [申請番号13]	国東～上成仏(小原経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)上国崎線 [申請番号14]	国東～上成仏(国中・小原経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)文珠線 [申請番号15]	国東～文珠(小原経由)		A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)文珠線 [申請番号16]	国東～文珠 (国中・小原経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)文珠線 [申請番号17]	国東～夫婦石 (小原経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)岩戸寺線 [申請番号18]	国東～岩戸寺上 (国中・小原経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)岩戸寺線 [申請番号19]	国東～岩戸寺上 (小原経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)丸小野線 [申請番号20]	国東～丸小野上 (武蔵経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)朝来線 [申請番号21]	安岐～諸田 (市民病院経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)朝来線 [申請番号22]	安岐～諸田 (長瀬経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)両子線 [申請番号23]	安岐～両子寺 (市民病院経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)両子線 [申請番号24]	安岐～両子寺 (梅園の里経由)		A	A			
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	豊岡線	(九州運輸局評価結果) 評価の指標は、1日あたりの利用者数。 利用者から要望のあったバス停の新設、増便要望に対応するなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。	A	A	目標は達成できたものの利用者は全路線中では少ないため、利用者のニーズ等を分析し、また、地区への周知活動なども行いながら、利用しやすいコミュニティバスを目指す。	評価の指数は、1便当たりの利用者数。 毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
日出町生活交通確保維持協議会		藤原赤松線	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	A	A	目標達成はできたものの、現在の利用の多い地域へ利便性向上を図るため、バス停設置などを行った。		
日出町生活交通確保維持協議会		藤原一北線		A	B	令和元年10月1日より、利用が少ないため、本路線を全体的に見直し、利用者の少ない地域を予約制のデマンド運行とし、赤松線の利用者の多い地域へ乗り入れ利便性の向上を図った。		
日出町生活交通確保維持協議会		川崎線	(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについてもより具体的に路線個別の評価分析を行うこととした。	A	A	目標達成できたものの、日出駅・病院・郵便局などを経由する路線へ見直し、さらなる利便性の向上を図った。		
日出町生活交通確保維持協議会		南端線		A	A	令和元年10月より廃校となった南端小中学校の利用児童・生徒の乗車を無料としたことにより、児童・生徒の利用が増え、定員一杯となることも懸念されるため、今後はスクール線の検討を行うことも必要といえる。		
日出町生活交通確保維持協議会		大神線		A	A	利用も安定しているが、さらなる利用者の増を目指して、利用者ニーズの把握及び、地区への周知活動などを行い、利用者増を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス(株)	牧の内線	(九州運輸局評価結果) 評価の指標は、1日あたりの利用者数。利用者から要望のあったバス停の新設、増便要望に対応するなど利便性向上に取り組みられていることを評価します。	A	A	令和元年10月1日より、利用者の要望により、起終点を350メートルほど延長し、利用者の利便性をはかった。		
日出町生活交通確保維持協議会		平原線	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。	A	A	路線の見直しもあり、利用者は僅かに増加した。引き続き利用実態を把握しながら、効率的な輸送サービスを検討していく。		
日出町生活交通確保維持協議会		軒の井線	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	A	A	目標達成はできたが、今後も利用者の利便性の向上やアンケート調査などのニーズ把握、新規顧客獲得に向けた取り組みなどを行い、利用者数の増を目指す。		
日出町生活交通確保維持協議会		深江線	(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについてもより具体的に路線個別の評価分析を行うこととした。	A	A	目標達成はできたが、今後も利用者の利便性の向上やアンケート調査などのニーズ把握、新規顧客獲得に向けた取り組みなどを行い、利用者数の増を目指す。		
日出町生活交通確保維持協議会		小深江線		A	B	利用状況の把握、分析を行い、さらなる周知を行うことにより新規利用者の増を図る。		
日出町生活交通確保維持協議会		真那井線		A	B	利用状況の把握、分析を行い、さらなる周知を行うことにより新規利用者の増を図る。		
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー(株) 大分シティタクシー(株) (1)弓立ルート(通常便:戸次)	弓立~戸次の運行	(前回の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。利用者が参加する「地域検討会」を開催し、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行い、利用者との協働で、以下の事項の検討に取り組む。 ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズ ・次年度の運行計画 ・利用促進	A	B	●路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続して開催し、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行い、利用者との協働で、以下の事項の検討に取り組む。 ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズ ・次年度の運行計画 ・利用促進	評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー(株) 大分シティタクシー(株) (2)弓立ルート(通常便:戸次)	弓立~戸次の運行	4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数は目標を達成している。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。			●利用者の利便性向上と、地域への運行の周知を図るため、停留所標柱やベンチを設置した停留所を拡大する。	②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー(株) 大分シティタクシー(株) (3)弓立ルート(通常便:判田)	弓立~判田局前の運行	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。			●高齢者が多く所属する団体などへの資料送付や自治会長が集まる会議での制度説明、市報等を通じて制度の周知を図り、ルートの増設と利用者の増加に取り組む。		
大分市地域公共交通協議会	オーケーはとタクシー(株) (4)赤仁田ルート	赤仁田~判田局前の運行				●路線バスとの接続の利便性の向上を図りながら、更なる利用者の増加に取り組む。		
大分市地域公共交通協議会	大分タクシー(株) オーケーはとタクシー(株) (5)榎原ルート	榎原~判田局前の運行	(反映状況) 地域検討会・説明会を行い、利用者から出た意見に基づき、運行ルート・運行時刻表を設定した。さらに、停留所の増設に加え、要望のあった場所にベンチを設置するなど、利便性の向上に努めた。					
大分市地域公共交通協議会	大分タクシー(株) オーケーはとタクシー(株) (6)中野ルート	中野~戸次の運行	また、目標未達に加え、目標達成したものについても分析を行い、自己評価に盛り込んだ。					
大分市地域公共交通協議会	大分シティタクシー(株) (7)延命寺ルート	延命寺~坂ノ市の運行						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー(株) (8)市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー(株) (9)屋山ルート	屋山～坂ノ市の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー(株) (10)一木ルート	一木～中向・浜入口の運行						
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー(有) (11)木佐上ルート(馬場:往路)	木佐上～馬場の運行						
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー(有) (12)木佐上ルート(馬場:復路)	木佐上～馬場の運行						
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー(有) (13)木佐上ルート(神崎中学校前:往路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー(有) (14)木佐上ルート(神崎中学校前:復路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー(有) (15)大志生木ルート	大志生木1～大志生木の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー(株) (16)大黒ルート	大黒～佐賀関の運行						
大分市地域公共交通協議会	臼津交通(株) (17)臼関線	佐賀関～臼杵 (補助対象:大分市内のみ)	前回の事業評価なし	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ●沿線住民への周知の強化 ・沿線住民に時刻表を配布 ●沿線施設との連携 ・沿線施設へ時刻表を設置 ●幹線との乗継ぎ時刻の円滑化 ・可能な範囲で乗継ぎ時刻の調整を行う。 	評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
大分市地域公共交通協議会	臼津交通(株) (18)臼関線	佐賀関～下浦						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
中津市公共交通会議	大交北部バス(株)	申請番号1 路線バス事業 【永添線】 中津駅～万田～大 貞車庫	市報やHP等を利用したPR や乗り方教室・マイ時刻表の 作成を行い利用者へのバス 利用環境の改善を図った。	A	B	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め、 さらなる利用拡大のため、利 用促進策を行う。	評価の指数は、系統毎の輸送人 員。毎年、市報やHP等を利用したP Rやバスの乗り方教室を実施し、 新たにマイ時刻表の作成を行う など利用促進に取り組まれている ことを評価します。 自己評価については、利用者の 増加・減少の要因を分析しそこ から対応策に繋げていくことをご 検討願います。 引き続き協議会が設定する今後 の改善点が着実に推進されること により持続可能な交通ネット ワークが構築されるとともに、協 議会が日々の公共交通の利用、 取組の情報を認知する場として 活用されることを期待します。	
中津市公共交通会議		申請番号2 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～ 野路	市報やHP等を利用したPR や乗り方教室・マイ時刻表の 作成を行い利用者へのバス 利用環境の改善を図った。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め、 さらなる利用拡大のため、利 用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号3 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～ 大貞車庫	市報やHP等を利用したPR や乗り方教室・マイ時刻表の 作成を行い利用者へのバス 利用環境の改善を図った。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め、 さらなる利用拡大のため、利 用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号4 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～中津北高 ～野路	市報やHP等を利用したPR や乗り方教室・マイ時刻表の 作成を行い利用者へのバス 利用環境の改善を図った。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め、 さらなる利用拡大のため、利 用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号5 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～中津北高 ～大貞車庫	市報やHP等を利用したPR や乗り方教室・マイ時刻表の 作成を行い利用者へのバス 利用環境の改善を図った。	A	B	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め、 さらなる利用拡大のため、利 用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号6 路線バス事業 【深森線】 中津駅～イオン～ 山口	市報やHP等を利用したPR や乗り方教室・マイ時刻表の 作成を行い利用者へのバス 利用環境の改善を図った。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め、 さらなる利用拡大のため、利 用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号7 路線バス事業 【海岸中高線】 さ萩前～鍋島～中 津駅	市報やHP等を利用したPR や乗り方教室・マイ時刻表の 作成を行い利用者へのバス 利用環境の改善を図った。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め、 さらなる利用拡大のため、利 用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号8 路線バス事業 【田口線】 中津駅～イオン～ 八面山荘	市報やHP等を利用したPR や乗り方教室・マイ時刻表の 作成を行い利用者へのバス 利用環境の改善を図った。	A	B	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め、 さらなる利用拡大のため、利 用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号9 コミュニティバス 【城井線】 平田診療所～明星 ストア～平田診療 所	市報やHP等のPRや乗り方 教室などの住民へ周知や乗 降調査を行い利用者の意見 の収集をした。	A	C	1片道当たり輸送人員2.0に なるよう目標を設定したが、1 片道当たり輸送人員2.0に届 かなかった。路線の見直しな ど改善が必要。		
中津市公共交通会議		申請番号10 コミュニティバス 【川原口線】 旬菜館～津民診療 所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方 教室などの住民へ周知や乗 降調査を行い利用者の意見 の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め る。		
中津市公共交通会議		申請番号11 コミュニティバス 【上ノ川内榎木線】 旬菜館～津民診療 所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方 教室などの住民へ周知や乗 降調査を行い利用者の意見 の収集をした。	A	B	毎週利用する乗客が1人いる ことで年間80～100人程度 の乗車人数になるため、定期 的に乗る人が3～4人減少し たと思われることを踏まえ て、再度ニーズの把握に努 める。		
中津市公共交通会議		申請番号12 コミュニティバス 【大島台金吉線】 耶馬溪支所～下郷 診療所～耶馬溪支 所	市報やHP等のPRや乗り方 教室などの住民へ周知や乗 降調査を行い利用者の意見 の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め る。		
中津市公共交通会議		申請番号13 コミュニティバス 【大島伊福線】 耶馬溪支所～下郷 診療所～耶馬溪支 所	市報やHP等のPRや乗り方 教室などの住民へ周知や乗 降調査を行い利用者の意見 の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
中津市公共交通会議	耶馬溪交通(有)	申請番号14 コミュニティバス 【樋山路鎌城線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努める。		
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス(株)	<路線バス> (1)麻生(山口経由) (2)麻生 (3)乙女 (4)豊洲 (5)西椎屋(土岩屋) (6)定別当 (7)日の岳 (8)津房 (21)明治線 (22)宇佐参宮線 <コミュニティバス> (9)上麻生 (10)上麻生(南敷田) (11)西馬城 (12)高家・天津 (13)萱籠・釜ノ口 (14)中山・新貝 (15)古川・上ノ原 (16)大内・塔尾 (17)南毛 (18)安心院亀川 (19)長洲・金屋 (20)上内河野	路線バスについては、地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。 市内各路線を維持し、幹線・支線のネットワークを連携を継続させるため昨年度より「明治線」「宇佐参宮線」も補助対象とした。 コミュニティバスについては、既存路線の利用状況を踏まえて、運行ルートや時刻等の協議を行った。	A	B	一部の路線を除き、全体的にみると路線バスとコミュニティバスの両方の利用者数が減少することとなった。これは、人口減少や比較的多くバスを利用していた方の体調等のほか、路線の再編に伴う変化が影響していると思われる。 その他、運転手不足の影響から令和元年10月よりバス路線の廃止・減便をせざるを得なくなったことから、コミュニティバスの見直しを行った。 今後有効な対策・施策を積極的に進めながら、今後も地域の公共交通を発展させていく。	評価の指数は、利用者数。前年度に引き続き、路線図・時刻表を作成し、市内全戸に配布するなどの利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標値を大きく下回っている系統があることから、利用者ニーズを把握し、公共交通を利用して頂きたい方にアプローチして頂くことを期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有)KCタクシー大分 中津太陽交通(株) 香国タクシー	上野線 上野～健康交流センター花いろ～商工会議所	運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 路線バス、市民乗合タクシー路線図を作成し、市内全戸に配布した。 公共交通乗り継ぎガイドを作成し、主要施設やパターナル等にて配布した。 市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用し、公共交通の提供に努めた。	A	B	前年をやや下回る利用であったが、安定した利用が見込まれる系統である。今後も地域住民の意見を反映しながら、効果的な運行に努める。	評価の指標は、1便あたりの利用者数及び1人あたりの財政負担額。 運行事業者と共同した乗降調査の実施及び利用者による利用状況の聞き取り、要望調査を行うなど利用者ニーズの把握に動められていることを評価します。 自己評価は、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
豊後高田市地域公共交通会議		熊野線 田染平野～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	A	前年を上回る利用があり、一人あたりの財政負担額も減少した。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。		
豊後高田市地域公共交通会議		並石線 大日大橋～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	A	前年を上回る利用があり、一人あたりの財政負担額も減少した。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。		
豊後高田市地域公共交通会議		長岩屋線 三畑公民館～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	人口が少ない地域であり、利用者数の大幅な増加は見込めないが、運転免許を持たない高齢者の生活交通手段であるため、利用実態の把握に努め、効果的な運行を検討していく。		
豊後高田市地域公共交通会議		草地線 長添～スーパーあさの～商工会議所		A	B	利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、利用実態の把握に努め、効果的な運行を検討していく。		
豊後高田市地域公共交通会議		黒土線 小河内～スパランド真玉～スーパーまたま		A	A	前年を上回る利用があり、一人あたりの財政負担額も減少した。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株) 香国タクシー	臼野線 山畑～大平公民館 ～スーパーまたま	運行事業者と協力し、便別、 停留所別の乗降調査を実施 した。 路線バス、市民乗合タクシー 路線図を作成し、市内全戸 に配布した。 公共交通乗り継ぎガイドを作成 し、主要施設やバスターミナル 等にて配布した。 市報、ホームページ、ケーブ ルテレビ等の市の広報媒体 を活用し、公共交通の情報 提供に努めた。	A	A	人口が少ない地域である が、前年を上回る利用が あった。市中心部へ移動す る路線バスへの乗り継ぎも 多く、今後も利用促進に努め る。		
豊後高田市地域公共交通会議		夷線 夷谷温泉～西夷公 民館～10-1構造改 善センター		A	B	利用者数は少ないが、市中 心部へ移動する路線バスへ の乗り継ぎや温泉施設への 利用等に必要な系統である ため、今後も利用促進に努 める。		
豊後高田市地域公共交通会議		小畑線 夷谷温泉～三浦郵 便局～サンクリニッ ク		A	B	利用者数は少ないが、市中 心部へ移動する路線バスへ の乗り継ぎや温泉施設への 利用等に必要な系統である ため、今後も利用促進に努 める。		
豊後高田市地域公共交通会議		羽根線 夷谷温泉～羽根上 公民館～サンクリ ニック		A	A	前年を上回る利用があり、一 人あたりの財政負担額も減 少した。今後も地域住民の 意見を反映しながら、さら なる利用拡大と効果的な運 行に努める。		
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	呉崎線(デマンド 型) 呉崎11・12～呉崎 地域～商工会議所	運行事業者と協力し、便別、 停留所別の乗降調査を実施 した。 路線バス、市民乗合タクシー 路線図を作成し、市内全戸 に配布した。 公共交通乗り継ぎガイドを作成 し、主要施設やバスターミナル 等にて配布した。 市報、ホームページ、ケーブ ルテレビ等の市の広報媒体 を活用し、公共交通の情報 提供に努めた。	A	C	利用者数の減少により路線 定期運行からデマンド運行 に移行した系統であるが、利 用者数は減少している。利用 促進を図るとともに、利用実 績、利用者の意向調査など を実施し、今後の運行を検 討する必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		西真玉線(デマンド 型) 湯原上～西真玉地 域～スーパーまた ま		A	C	利用者数の減少により路線 定期運行からデマンド運行 に移行した系統であるが、利 用者数は減少している。利用 促進を図るとともに、利用実 績、利用者の意向調査など を実施し、今後の運行を検 討する必要がある。		
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス(株)	阿蘇野コース スクールバス阿蘇 野コース スクールバス大津 留コース シャトル(大学病院 ⇄庄内庁舎)	スクールバスについては、入 学予定の児童へ利用に関す るお知らせを各小学校で行 うことで利用の呼びかけを行 った。 シャトルについては、引き続 き毎週水曜日の水中運動利 用者へ無料乗車券の交付を 行うことで利用促進を行 った。	A	B	スクールバスについては、該 当地域の生徒数により乗車 数が上下することから、生 徒以外の一般客の乗車が促 進できないか今後検討を要 す。その他の系統についても 再編実施計画を通じて、利 用者のニーズ把握に努め、 利便性向上の取組を進め る。 評価の指数は、年間輸送人員。 前年度に引き続き、JRへの乗り 継ぎ時刻及び各地域ごとの路線 図を掲載した時刻表を作成・配 布し、由布市公式アプリ「ゆふ ぽ」を活用したコミュニティバス の情報提供など、利用促進に取 り組まれていることを評価しま す。 自己評価については、利用者減 少の要因を分析するとともに利 用者ニーズを把握し、子ども、学 生、高齢者など公共交通を利用 して頂きたい方に対してアプロ ーチして頂くことをご検討願いま す。 今後も利用状況の把握・分析を 行うことにより、効率的な利用促 進が実施されることを期待しま す。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	大野竹田バス(株)	高伏・上町線 (玉来・竹田営業所)	利用者数のデータ分析及び利用者の要望について、平成29年3月に策定した、公共交通網形成計画時に利用者アンケートを実施し、分析及び実施事業については繁栄した。	A	C	高伏・上町線は、観光地である長湯温泉へ移送する路線であるため、地元観光協会関係機関と連携し、利用促進に努める。 また、2018年12月、阿蘇市と竹田市、JR九州において豊肥線を活用して観光振興に取り組む協定を締結した。この三者連携協議会において、地域交通を利用した地域活性化に取り組むなど観光振興の観点からも今後引き続き取り組む予定である。	評価の指数は、輸送人員。路線図に公共施設等を記載した分かりやすい総合時刻表を作成し、バス路線総合案内サイトを開設するなど市民への利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、利用者減少の要因を分析するとともに利用者ニーズを把握し、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して頂きたい方に対してアプローチして頂くことをご検討願います。	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	中央タクシー(株)、竹田合同タクシー(株)	姫岳コース・宮砥コース	利用者数のデータ分析及び利用者の要望について、平成29年3月に策定した、公共交通網形成計画時に利用者アンケートを実施し、分析及び実施事業については繁栄した。	A	B	平成29年3月に策定した、竹田市地域公共交通網形成計画の進捗管理を適正に行い、運行事業者、地域等と連携し、利用促進に取り組む。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
別府市公共交通活性化協議会	大分交通(株)	関の江団地線 亀川駅～亀川新川～亀川駅	運行ルートやダイヤの見直しを実施した。	A	A	運行ルートやダイヤは現状を維持しつつ、更なる利用者の増加に向けた、利用者への広報を継続して行う。	評価の指数は、年間輸送人員。自己評価については、平成31年に關の江団地線の循環線化に取り組み、目標を達成されたことを評価します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー上九瀬線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	須木区域唯一の路線であり、通学で利用している利用者がいるため、維持・存続が不可欠である。区域住民と連携して新規利用者の開拓を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。	評価の指標は、系統ごとの年間利用者数。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー鷗野循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー岡原循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー種畜牧場循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー南ヶ丘線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー環野ー千歳線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー運動公園循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー深草循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー大出水循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー三松循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	C	複数の病院や商業施設を経由する路線であり、主要施設を循環するバスとして維持・存続が不可欠である。引き続き、イベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林ー上原循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
日向市地域公共交通会議	日向市	東1コース (イオンタウン日向・櫛の山)	出前講座や高齢者クラブ、後期高齢者説明会(75歳対象)等に出向き、住民への周知活動を行った。	A	B	引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者に対し運転免許証の自主返納制度を周知し、公共交通の利用増へつなげる。 今後も利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。	評価の指標は、系統ごとの年間利用者数。 継続して出前講座、高齢者クラブ、後期高齢者説明会等において周知するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析するとともに利用者ニーズを把握し、学生、高齢者など公共交通を利用して頂きたい方に対してアプローチして頂くことをご検討願います。 今後も平成29年10月の日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることに期待します。	
日向市地域公共交通会議	日向市	東2コース1(イオンタウン日向・水ヶ公園・幡浦) 東2コース2(イオンタウン日向・幡浦)	小学生の校外学習に市民バスを利用してもらい、市民バスに対する意識の醸成をはかるとともに、利用者増に努めた。	A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	西1コース (比良町・小原)	平成31年4月から日祝運行を開始し、利便性の向上を図った。	A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	西2コース (本谷・新財市)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	南1コース1 (比良町・向洋台) 南1コース2 (比良町・向洋台・山の田)		A	A			
日向市地域公共交通会議	日向市	南2コース (長江団地入口・往還)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	北1コース (花ヶ丘・日向台・亀崎)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	北2コース (大王谷・梶木)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	美々津日向市駅線 コース1 美々津日向市駅線 コース2 美々津日向市駅線 コース3		A	B			運行開始から2年半が経過し利用者も定着してきたところであるが、引き続き利用啓発に努める。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	田野羽坂線	高齢者クラブに出向き、住民への周知活動を行った。 路線バスとの乗り継ぎを考慮し、運行ダイヤを見直した。 平成30年10月1日からの運行ダイヤの見直しを行った。	A	B	引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者に対し運転免許証の自主返納制度を周知し、公共交通の利用増へつなげる。 H30年10月1日から増便し、運行の見直しを行ったため、今後は沿線住民への情報提供や利用啓発に努める。		
日向市地域公共交通会議	日向市	仲深坪谷越表線		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	福瀬小野田線		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	仲深坪谷線		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	鶴野内迫野内八重原線		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	寺迫庭田線	高齢者クラブに出向き、住民への周知活動を行った。 平成30年10月1日から、増便を行い利便性の向上を図った	A	A	引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者に対し運転免許証の自主返納制度を周知し、公共交通の利用増へつなげる。 H30年10月1日から増便し、運行の見直しを行ったため、今後は沿線住民への情報提供や利用啓発に努める。		
日向市地域公共交通会議	日向市	飯谷田の原線		A	A			
日向市地域公共交通会議	日向市	鶯毛靱木線		A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおり、コミュニティバス・乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 また、利用低迷路線において地域住民を対象とした座談会を開催し、交通弱者の把握等を行った。	A	C	コミュニティバス及び乗合タクシーは、路線バスが運行していない交通空白地域を運行しており、地域住民にとって必要不可欠な路線であるため、事業者、市、地域住民が連携して利用促進を図る必要がある。 沿線住民に対して引き続き利用を促すチラシの配布等を行うとともに、特に利用が低迷している路線では利用者を集めた地域検討会を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。	評価の指標は、系統別の乗車率。 利用低迷路線において地域住民との座談会を実施するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、利用者減少の要因を分析するとともに利用者ニーズを把握し、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して頂きたい方に対してアプローチして頂くことをご検討願います。 今後も、平成31年3月に策定した域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
延岡市地域公共交通活性化協議会		②鹿川線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		③二股線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		④猿渡線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑤三ヶ村線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑥大保下線			A			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑦下崎・笠下黒原線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑧片内・菅原線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑨上中尾線			A			
延岡市地域公共交通活性化協議会	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑩下塚線	協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおり、コミュニティバス・乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 また、利用低迷路線において地域住民を対象とした座談会を開催し、交通弱者の把握等を行った。	A	B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑪市尾内線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑫三川内線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑬上三輪・貝の畑～岡富線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑭安井・神戸～レーヨン線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑮須佐～大武線			A			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑯小川～平田線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑰上赤線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 ※自家用有償旅客運送 ○北川線4系統	⑱下塚線	協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおり、まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 また、経路変更により利用頻度の高い商業施設・病院への乗入れを行々とともに、利用促進キャンペーンの実施等により乗客の確保を図った。	A	C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑲瀬口線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑳家田線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会								
延岡市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株) ○1系統	㉑まちなか循環バス	協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおり、まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 また、経路変更により利用頻度の高い商業施設・病院への乗入れを行々とともに、利用促進キャンペーンの実施等により乗客の確保を図った。	A	B	まちなか循環バスは、引き続き協議会や事業者等と連携し、利用促進キャンペーン、沿線観光地を紹介するガイドブック制作、沿線コンビニエンスストア等と連携した乗り場環境の改善を図り、乗車率の向上を図っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	三和交通(株) 平野・石尾線	西都ショッピングセンター～石尾の運行(専門学校経由あり)	新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。なお、令和2年度から一部ダイヤの変更を行っている。	評価の指標は、系統ごとの年間利用者数。バス利用者の意見を反映し、一部ダイヤ改正するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成している系統があることを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことを期待します。今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
西都市地域公共交通会議	三和交通(株) 長谷線	西都ショッピングセンター～上長谷の運行	新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。なお、令和2年度から一部ダイヤの変更を行っている。		
西都市地域公共交通会議	三和交通(株) 山田・上沖線	西都ショッピングセンター～中山の運行	平成29年10月から路線の延長や増便を行い、平成30年10月からは利用者の要望を受け、経路の変更を行った。新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	A	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通(株) 岩爪線	西都ショッピングセンター～岩爪の運行	平成29年10月から路線の延長や増便を行い、平成30年10月からは利用者の要望を受け、経路の変更を行った。新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、利用者への情報提供を行った。	A	B	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通(株) 長園線	西都ショッピングセンター～長園の運行	平成29年10月から路線の延長や増便を行い、平成30年10月からは利用者の要望を受け、経路の変更を行った。新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	A	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通(株) 岩井谷・並木線	並木～西都ショッピングセンターの運行	平成29年10月から地区内の路線であったものを市内中心部までを結ぶ路線へ変更し、増便も行っている。新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	A	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。なお、令和2年度から経路の見直しを行っている。		
西都市地域公共交通会議	三和交通(株) 穂北線	西都ショッピングセンター～尾吐の運行	新たにチラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	C	利用者減が続いており、1回当たりの輸送量が2人まで低下しているため、路線の効率化も含めた路線の見直しを検討するとともに、住民への情報提供を継続する。		
西都市地域公共交通会議	宮崎タクシー(株) 春日・大口川線	春日公民館～西都バスセンターの運行	平成29年10月から新たに設定した路線である。チラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	C	利用が低調であるため、地元組織を通じて積極的な利用の働きかけ、ニーズの把握に努めるほか、引き続き情報提供を行い利用促進を図るとともに、抜本的な見直しも検討する。		
西都市地域公共交通会議	宮崎タクシー(株) 竹尾・平原線	平原公民館～西都バスセンターの運行	平成29年10月から新たに設定した路線である。チラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	B	路線設置から2年経過し、一定の利用者の定着が見られる。定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	宮崎タクシー(株) 加勢・小豆野線	小豆野～西都バスセンターの運行	コミュニティバスの路線であったが、市内中心部までを結ぶ路線へ変更し、増便も行った上で、平成29年10月からデマンド型乗合タクシーの路線として設定したものである。チラシを作成し、対象地区に配布するなど、住民への情報提供を行った。	A	A	定期的に見直しを行いながら、継続的に見直しを検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
都城市地域公共交通会議	(有) 銀星タクシー	○運行区間: 都城市山之口町 北東部⇄中心部 ○運行日: 火・金曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デ マンド運行	敬老会等の集まりへ出向 き、利用ガイド配布と説明を 実施し、新規利用者獲得に 努めた。	A	B	山之口地区中心部住民の利 用促進を強化する。なお、利 用者拡大に向け、エリアフ リー乗降を検討する。	評価の指標は、運行日1日当た りの利用者数。 地域の集まりの機会を捉えて新 規利用者の獲得など利用促進に 取り組まれていることを評価しま す。 公共交通の利用促進に取り組ま れ目標を達成されていることを評 価します。引き続き利用者ニー ズを把握し、高齢者など公共交 通を利用していただきたい方に 対してアプローチしていただくこ とを期待します。 今後も利用状況の把握・分析を 行うことにより、効率的な利用促 進が実施されることを期待しま す。	
都城市地域公共交通会議	(有) 銀星タクシー	○運行区間: 都城市山之口町 南部⇄中心部 ○運行日: 月・水・木曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デ マンド運行	敬老会等の集まりへ出向 き、利用ガイド配布と説明を 実施し、新規利用者獲得に 努めた。	A	A	山之口地区中心部住民の利 用促進を強化する。なお、利 用者拡大に向け、エリアフ リー乗降を検討する。		
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 東西町平田乙房 線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※ 路線定期	まちづくり協議会を中心に利 用促進を行う中で、協議会に 届いた意見や要望を基に、 運行経路や運行時刻の見直 しを行った。	A	A	新規利用者を開拓するた め、マイカーとの併用推 進や、経路検索システムに表 示されるためのデータ整備を 行う。		
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 関之尾川崎菓子 野線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※ 路線定期	まちづくり協議会を中心に利 用促進を行う中で、協議会に 届いた意見や要望を基に、 運行経路や運行時刻の見直 しを行った。	A	A	新規利用者を開拓するた め、マイカーとの併用推 進や、経路検索システムに表 示されるためのデータ整備を 行う。		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー(株)	竹鳩線 (竹鳩〜めいりんの 湯)	公共交通マップの更新・配布 や、町のお知らせ文書や ホームページでの運行状況 の周知、バスの乗り方教室 を継続して実施した。	A	B	利用者・利用目的が固定化 されているため、新規利用者 の増加を目指し、バスの乗り 方教室や出前講座を行うこと で、これまでバスに乗ること がなかった人たちにも、バス を身近に感じてもらえるよう な取り組みを行う。 また、なでしこバスの運行形 態の見直しを検討し、住民の 利用ニーズに即した路線の 設定や情報の周知方法等を 検討していく。		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー(株)	老瀬線 (老瀬〜めいりんの 湯)	公共交通マップの更新・配布 や、町のお知らせ文書や ホームページでの運行状況 の周知、バスの乗り方教室 を継続して実施した。	A	B	利用者・利用目的が固定化 されているため、新規利用者 の増加を目指し、バスの乗り 方教室や出前講座を行うこと で、これまでバスに乗ること がなかった人たちにも、バス を身近に感じてもらえるよう な取り組みを行う。 また、なでしこバスの運行形 態の見直しを検討し、住民の 利用ニーズに即した路線の 設定や情報の周知方法等を 検討していく。		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー(株)	蚊口浜線 (蚊口浜〜めいりん の湯)	公共交通マップの更新・配布 や、町のお知らせ文書や ホームページでの運行状況 の周知、バスの乗り方教室 を継続して実施した。	A	B	利用者・利用目的が固定化 されているため、新規利用者 の増加を目指し、バスの乗り 方教室や出前講座を行うこと で、これまでバスに乗ること がなかった人たちにも、バス を身近に感じてもらえるよう な取り組みを行う。 また、なでしこバスの運行形 態の見直しを検討し、住民の 利用ニーズに即した路線の 設定や情報の周知方法等を 検討していく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー(株)	堀の内団地線(堀の内団地～めいりんの湯)	公共交通マップの更新・配布や、町のお知らせ文書やホームページでの運行状況の周知、バスの乗り方教室を継続して実施した。	A	C	利用者・利用目的が固定化されているため、新規利用者の増加を目指し、バスの乗り方教室や出前講座を行うことで、これまでバスに乗ることがなかった人たちにも、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行う。また、なでしこバスの運行形態の見直しを検討し、住民の利用ニーズに即した路線の設定や情報の周知方法等を検討していく。		
川南町地域公共交通会議	三和交通(株)	定期路線運行:尾鈴通浜線(運行時間7:30~8:30) H3 O. 10~R01. 9	周知が進んでいない部分のあったので、バス停への時刻表の拡大設置や施設・事業所等への周知を行った。	A	B	台風や豪雨等の自然災害の影響もあったが、今後も利用者の利用状況や意見等を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。	評価の指標は、定期路線運行の月間利用者数及び利用登録者数。バス路線を維持していくため利用者の要望を把握し回数券を発行するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
川南町地域公共交通会議		オンデマンド運行:町内全域(運行時間8:40~18:00) H3 O. 10~R01. 9	町立小中学校(校外活動等の利用)や高齢者教室等での周知を行った。地域自治公民館と連携して買い物支援実験を行った。	A	B	台風や豪雨等の自然災害の影響もあったが、今後も利用者の利用状況や意見等を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。		
高原町地域公共交通会議	事業者名: 宮交タクシー(株)	定期路線運行:小久保線 [月・木] 8:35から12:40まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。	A	C	今後も利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的にを行い、必要に応じた、ルート、ダイヤ等の見直し、検討を行う。今年度は、公共交通に対する町民への周知、関心を持ってもらうため、町広報へ各路線の1年間の利用者数や経費、乗車方法等を掲載した。今後も引き続き、町民並びに沿線住民への広報、周知徹底等利用促進への取組を行っていく。しかしながら、利用者数が伸びない路線については、廃線も含め、運行形態について、沿線区と協議を行う。	評価の指標は、系統ごとの年間利用者数。バス路線を維持していくため利用者へのアンケート調査、利用実績結果などをダイヤ・ルートに反映し利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
高原町地域公共交通会議		定期路線運行:後川内線 [火・金・土] 8:15から15:25まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。	A	A			
高原町地域公共交通会議		定期路線運行:湯之元蒲牟田線 [水・土] 8:20から12:49まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。沿線地区住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	A			
高原町地域公共交通会議		定期路線運行:常盤台線 [月・木] 8:29から12:35まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。沿線地区住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会日向支部	①牧山線	前回の事業評価では、町内イベントと同時実施する乗り方教室、運転免許証返納高齢者への無料乗車券配布等を評価いただいたほか、収支率又は平均利用者が目標に達しなかった路線、達した路線について、それぞれ詳細に分析するようご指導いただいた。 今年度も上記の事業は引き続き実施するほか、運行時間、路線及びバス停ごとの利用実績などを分析し、ダイヤの変更、定期運行から予約制運行への変更ができないかを検証している。	A	B	運行経費削減を図るため、乗降者数が少ないバス停については、定期運行から予約運行への切り替えることを検討する。 定例の区長会等の機会を利用し、乗合タクシー事業のPR及び利用促進を図る。 町内の商業施設又は医療機関等と連携し、賞品割引企画や健康講座等を実施し、乗合タクシー利用のきっかけ作りを行う。	評価の指標は、1便当たりの利用者数と収支率。 バス路線を維持していくため、各地区において住民座談会を実施し事業の必要性などを議論し利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に挙げていくことをご検討願います。 今後も平成29年10月の日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることに期待します。	
門川町地域公共交通会議		②大迫・庵川線		A	B			
門川町地域公共交通会議		③竹名・中村線		A	B			
門川町地域公共交通会議		④中山・五十鈴線		A	B			
門川町地域公共交通会議		⑤大池・中山線		A	B			
門川町地域公共交通会議		⑥本町巡回線		A	B			
門川町地域公共交通会議		⑦三ヶ瀬線(町部行きコース)		C	C			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株) 鹿児島交通(株)	祁答院～川内駅(市内横断シャトルバス)	H31.2からの樞軸地域デマンド交通の説明会等において、市内横断シャトルバスについても紹介を行った。 コミュニティバスの運賃無料一日乗り放題を実施し、コミュニティバスの周知・利用啓発を行った。 交通だよりや市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度やバス共通乗車カードの案内を行い、利用促進を図った。	A	B	目標人数には達しなかったが、昨年度より祁答院～川内駅は、0.4人、いむた清風～川内駅は0.8人の利用者数の増となった。 今後の更なる利用者数の増加に向け、引き続き交通だよりや市HP等で、高齢者の運転免許証自主返納者に対する運賃割引制度や沿線案内をからめた路線紹介等、利用啓発・利用促進に努めていく。 また、沿線の人口減少率も加味した適切な量的目標の設定に努める。		
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	いむた清風～川内駅(市内横断シャトルバス)		A	B			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線(西回り)(北部循環バス)		A	B			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線(東回り)(北部循環バス)		A	B			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線(西回り)(北部循環バス)		A	B			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線(東回り)(北部循環バス)		A	B			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線(東回り)(北部循環バス)		A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(国道回り) (川内港シャトルバス)	コミュニティバスの運賃無料一日乗り放題を実施し、コミュニティバスの周知・利用啓発を行った。 交通だよりや市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度やバス共通乗車カードの案内を行い、利用促進を図った。	A	B	国道回りは、昨年度の利用人数を維持、県道回りは0.1人の増だったが、目標には届かなかった。 今後も他の交通機関との接続を考慮し、経路検索事業者へのデータ提供を行うとともに、新たな利用者(観光客等)増と地域住民の利用者増に向け、更なる利用啓発・利用促進に努める。 また、適切な量的目標の設定に努める。		
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(県道回り) (川内港シャトルバス)	川内港シャトルバスと高速船甌島のダイヤ等についてGTFS-JPの作成及び経路検索事業者へのデータ提供の委託を実施した。	A	B			
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	溝辺地区におけるコミュニティバスの運行 (1)竹子・三縄・横川線 (2)麓線 (3)空港崎森線	①出前講座やケーブルテレビの放送により、霧島市における公共交通の現状、バスの乗り方、モデルコース等についての説明を行った。 ②地域の方の要望に応じ、私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)を作成し、提供した。 ③地域の方の要望に応じ、運行ルートの一部変更や、路線延長を行った。 ④公共交通の利用促進に係るイベント(ノーマイカーウィーク)を実施した。	A	C	■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。 ■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②出前講座や民生委員協議会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。 ③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。 ④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。 ⑤公共交通の利用促進に係るイベント等を実施する。(ノーマイカーウィークなど)	評価の指標は、1便あたりの乗車人数、年間利用者数。出前講座やケーブルテレビを活用し、利用促進を図られていることを評価します。自己評価が全てC評価となっていることから、各路線の利用者ニーズの把握に努めることにより協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	牧園地区におけるコミュニティバスの運行 (1)霧島牧園線 福山地区におけるコミュニティバスの運行 (1)福沢線 (2)福地・池之谷線 (3)比曾木野線 (4)福地線(スクール対応) (5)福沢線(スクール対応)登校便 (6)福沢線(スクール対応)下校便		A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議	(株)有村観光	霧島地区永水・向田地域におけるデマンド交通の運行 (1)永水・向田線		A	C			
霧島市地域公共交通会議	(有)中村タクシー	溝辺地区有川地域、福山地区佳例川地域・福山地域におけるデマンド交通の運行 (1)有川線 (2)佳例川線 (3)福山線	-	A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議				A	C			
霧島市地域公共交通会議	第一交通(株)	霧島地区狭名田・野上地域におけるデマンド交通の運行 (1)狭名田・野上線		A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿児島市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	谷山地域あいばすの運行	市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。路線沿線の町内会に対し、誰でも利用できることなどを記載した利用案内チラシの回覧を実施した。	A	A	地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。潜在的な利用者の掘り起こしのため、高齢者以外の利用も可能なことなど、分かりやすい情報提供や案内表示の工夫に努める。	評価の指標は、路線別の1日あたりの利用者数。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。合わせて事業の今後の改善点に記載されている地域の利用者の意見や要望の把握を行うことにより、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
鹿児島市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	喜入地域あいばすの運行	平成30年10月から、一部の運行区域において、あいばすに代えて乗合タクシーを導入した。市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。路線沿線の町内会に対し、誰でも利用できることなどを記載した利用案内チラシの回覧を実施した。	A	B	運行計画の見直しにより変更した運行ダイヤの周知に努める。地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。潜在的な利用者の掘り起こしのため、高齢者以外の利用も可能なことなど、分かりやすい情報提供や案内表示の工夫に努める。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 平山線	浜田入口～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券申請受付の協力を依頼。また、河内温泉や公立病院など公共施設での情報提供を行った。	A	A	新規の利用者を確保するため、バスの利用方法など、さらに周知を図り、町民がより気軽に利用しやすいよう、取り組みを行う。	評価の指標は、路線別の年間利用者数。目標値には達しているものの、役場～河内温泉及び、牛野～河内温泉の2路線は前年度より利用者が大幅に減少している。対前年度実績値の具体的な分析を行い、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 荃永線	Aコープ前～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券申請受付の協力を依頼。また、河内温泉や公立病院など公共施設での情報提供を行った。	A	A	新規の利用者を確保するため、バスの利用方法など、さらに周知を図り、町民がより気軽に利用しやすいよう、取り組みを行う。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 西之線	役場～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券申請受付の協力を依頼。また、河内温泉や公立病院など公共施設での情報提供を行った。	A	A	新規の利用者を確保するため、バスの利用方法など、さらに周知を図り、町民がより気軽に利用しやすいよう、取り組みを行う。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 島間線	牛野～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券申請受付の協力を依頼。また、河内温泉や公立病院など公共施設での情報提供を行った。	A	A	新規の利用者を確保するため、バスの利用方法など、さらに周知を図り、町民がより気軽に利用しやすいよう、取り組みを行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) 拠点間バス	穎娃～霜出～川辺の運行	市内高校等で周知広報を実施。利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの平均乗車人数。市報やHPでの周知のほか、機会を捉えて地域へ広報を行うなど積極的に広報活動を行っていることを評価します。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) 拠点間バス	青戸小南～霜出～川辺の運行	市内高校等で周知広報を実施。利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。	利用者数は大幅減の系統があるなど全体的に減少傾向になっており、自己評価において具体的に原因を分析している。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) 拠点間バス	番所鼻公園～霜出～知覧の運行	市内高校等で周知広報を実施。利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。	また、平均乗車人数が前年度と同程度の実績値を維持している系統や、増加している系統があることから、減少している系統と同様に分析を行うことをご検討願います。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) 生活交通バス	瀬戸山～下里～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) 生活交通バス	屋敷平～本別府大久保～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株) 生活交通バス	田の頭～勝目西～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)生活交通バス	君野西～大山入口～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)生活交通バス	打木谷～上之口～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)生活交通バス	市街地周回線文化会館～病院前～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)生活交通バス	朽川三叉路～市役所～保健センターの運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)生活交通バス	加治佐～保健センター～知覧の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	市崎野～横手町～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。予約型乗合タクシーの試験運行の実施。	A	B	予約型乗合タクシーを本格導入し、効率的な運行を実施できるよう、引き続き地域自治会等への周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	滝の前～野崎公民館～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	山添～平山六丁～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	西の原～高田下～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	火之河原～中服良～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	松尾城橋～野間里～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	荒田～越原～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	川原～宮～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会生活交通バス	木床～上郡上～保健センターの運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	寺園～河上～保健 センターの運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	小金園～打越～保健 センターの運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	峯苔～平久保～知 覧の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	二ツ谷～堤之原～ 知覧の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。 予約型乗合タクシーの試験 運行の実施。	A	B	予約型乗合タクシーを本格 導入し、効率的な運行を実 施できるよう、引き続き地域 自治会等への周知広報を行 う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	高星～林川～知覧 の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	高吉～中福良～知 覧の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮 し、減便等運行計画の見直 しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	大隣南～松久保～ 霜上げんき館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	竹迫北～立山～霜 上げんき館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	中渡瀬～上木原～ 松山の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮 し、減便等運行計画の見直 しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	浦芝原～麓南～穎 娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	佃～奥園～穎娃図 書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	矢越～御領山下～ 穎娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	蓮子～水成川～穎 娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	青戸農村公園～福 留～穎娃図書館の 運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮 し、減便等運行計画の見直 しを検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	加治佐～小原～額娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	曲谷～赤崎～額娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	種子尾～一氏～額娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	永谷～粟ヶ窪～アグリ温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	効率的な運行を実現するため、予約型乗合タクシーの導入を検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	加治佐～耳原～別府温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	青戸農村公園～石垣～別府温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	長崎～前原～額娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	永谷～春向～額娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	下出～木之元～額娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	熊ヶ谷～栢山～額娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	上洲～雪丸～アグリ温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	効率的な運行を実現するため、予約型乗合タクシーの導入を検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	曲谷～新牧～アグリ温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	効率的な運行を実現するため、予約型乗合タクシーの導入を検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	輝北西ルート(市成出張所～歌丸～輝北総合支所)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等の収集に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B	利用者が固定客となってきているため、周知広報や利用促進策に取り組み、新規利用者の開拓を図っていく。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの利用者数。利用者の要望や利用実態を考慮したための細かいルート見直しを行うと共に、目標を達成出来なかった系統についての具体的な分析を行っていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。利用者のニーズにかかる検討も行われていることから、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	輝北東ルート(有村三文字～中平房～輝北総合支所)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等の収集に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B	東ルートは、運行ルートの効率化を図るため、見直しを行う。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	輝北中央ルート(輝北総合福祉センター～百引～輝北総合福祉センター)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等の把握に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	輝北堂平ルート(荒平橋～百引～輝北総合福祉センター)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等の把握に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	吾平東ルート(吾平振興会館～湯遊ランドあいら永野牧～吾平振興会館)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等により運行ルートを一部変更した。敬老会でのPRなど利用促進に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B	平成30年10月より全体的な運行見直しを行った。	路線の定着化のため、利用者の動向を見極めるとともに、更なる利用促進へ努めていく。
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	吾平西ルート(真戸原～坂元湯遊ランドあいら～吾平振興会館)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等により運行ルートを大幅に変更した。敬老会でのPRなど利用促進に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	A	地域特性等の踏まえ、利用者の回復が見込まれない場合は、運行形態の見直しも検討していく。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	市街地巡回バス(鹿屋～西原寿中央～鹿屋)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等により運行ルートを一部延伸した。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B	H31年4月から一部延伸して運行。周知広報や利用促進に努め、利用者増を図って行く。また、利用ニーズに応じた見直し等を必要に応じて実施する。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	串良馬掛ルート(馬掛公民館～永和～串良さくら温泉)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等の把握に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	串良新堀ルート(新堀公民館～永和～串良さくら温泉)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等の把握に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B	利用者が固定客となってきているため、周知広報や利用促進策に取り組み、新規利用者の開拓を図っていく。	町内会長等との意見交換により、地域の意見や要望等を収集し、ニーズに応じた運行内容の見直しを必要に応じて実施する。
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	串良市街地・堅田ルート(串良さくら温泉～堅田永和～串良さくら温泉)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等の把握に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	串良市街地ルート(串良さくら温泉～永和～串良さくら温泉)	市ホームページ等にて、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行った。利用者の声や要望等の把握に努めた。精神障害者福祉手帳3級所持者を割引対象とした。	A	B			
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島第一交通(株) 鹿屋営業所	天神 船間 花岡 西原	H30.10より本格運行開始のため、初めての事業評価	A	A	周知広報に努め、更なる利用促進に努めるとともに、新規利用者の開拓を図っていく。		
垂水市地域公共交通活性化協議会	協和タクシー	事前予約型乗合タクシー運行(市木地区～中央地区)	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行った。また、利用者の利便性向上のため、平成31年4月から振替休日及び国民の休日は運行することとした。	A	A	市木地区での運行区域の人口に見合った利用実績を得ているが、今後も利用者数の利用推進を図り、令和元年11月に実施したアンケート調査の結果をもとに満足度向上に努める。	評価の指標は、路線別の年間利用者数。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	(有)オダ	事前予約型乗合タクシー運行(大野地区～中央地区)	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行った。また、利用者の利便性向上のため、平成31年4月から振替休日及び国民の休日は運行することとした。	A	A	大野地区での運行区域の人口に見合った利用実績を得ているが、今後も利用者数の利用推進を図り、令和元年11月に実施したアンケート調査の結果をもとに満足度向上に努める。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	南海交通(株)	事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) ※内ノ野ルート	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行った。また、利用者の利便性向上のため、平成31年4月から振替休日及び国民の休日は運行することとした。	A	C	利用者数の更なる増加を図るため、引き続き、乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、今後も利用者数の利用推進を図り、令和元年11月に実施したアンケート調査の結果をもとに満足度向上に努める。		
垂水市地域公共交通活性化協議会		事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) ※小谷ルート	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行った。また、利用者の利便性向上のため、平成31年4月から振替休日及び国民の休日は運行することとした。	A	B	利用者数の更なる増加を図るため、引き続き、今後も利用者数の利用推進を図り、令和元年11月に実施したアンケート調査の結果をもとに満足度向上に努める。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(空港線)	知名～沖永良部空港間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、航空便のダイヤに接続した運行時刻への変更を実施。	A	B	航空便のダイヤに接続した運行時刻への変更を実施したが、島内利用者にとっては不便になった可能性も。ダイヤの固定も検討する。	評価の指標は、路線別の年間利用者数。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(知名・国頭線)	知名～国頭間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、高校生の朝課外に対応した運行時刻の変更、総合病院への路線バス乗り入れ開始。	A	C	町役場への乗入れや、病院前停留所を設置し、各町中心部への交通の利便性をさらに高める。	今後、系統の見直しを行うとしており、協議会が設定する改善点が着実に推進されることを期待します。	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(永嶺線)	知名～永嶺～和泊間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、高校生の朝課外に対応した運行時刻の変更、総合病院への路線バス乗り入れ開始。	A	C	停留所までの距離が長い集落内を通る路線変更や、病院前停留所を設置し利用者(特に高齢者)の利便性を高める。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(後蘭線)	知名～後蘭～和泊間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、高校生の朝課外に対応した運行時刻の変更、総合病院への路線バス乗り入れ開始。	A	A	停留所までの距離が長い集落内を通る路線変更を行い、病院前停留所を設置し利用者(特に高齢者)の利便性を高める。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(ガジマル線)	知名～下平川～和泊間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、高校生の朝課外に対応した運行時刻の変更、総合病院への路線バス乗り入れ開始。	A	A	停留所までの距離が長い集落内を通る路線変更を行い、病院前停留所を設置し利用者(特に高齢者)の利便性を高める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光川西	曾木バス停～川西地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析し、運行エリアの見直しを検討する。	<p>評価の指標は、区域運行が路線別の乗合タクシー運行台数、循環線が年間利用者数。循環線において乗り方教室等実施し、利用者数を維持していることを評価します。</p> <p>乗合タクシーは、認知度にかかる対策等を課題としており、利用者ニーズを把握し、子供、学生、高齢者など公共交通を利用していただきたい方に対してアプローチしていただくことをご検討願います。</p> <p>今後も協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。</p>	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光西山	針持バス停～西山地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析し、運行エリアの見直しを検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光高塚	針持バス停～高塚地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析し、運行エリアの見直しを検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光田原	針持バス停～田原地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析し、運行エリアの見直しを検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光荒田	菱刈中心地～荒田地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光永池楠原	菱刈中心地～永池楠原地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光野池小川添	菱刈中心地～野池小川添地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光田中重留	菱刈中心地～田中重留地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	B	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光市山花北	菱刈中心地～市山花北地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー湯之尾	菱刈中心地～湯之尾地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー山田徳辺	菱刈中心地～山田徳辺地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー 五色徳辺下	菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー 下手	菱刈中心地～下手地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー 布計	山野中心地～布計地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー 小川内	山野中心地～小川内地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー 平出水	山野中心地～平出水地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)青木循環線	大口中心地～青木篠原地区循環運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	神子線(乗合タクシー) 大野～鶴田支所の運行	地域サロンの代表者会等に参加し、乗合タクシーの周知及び利用促進活動を行った。また、出前講座のメニューにも追加し、啓発活動の機会を増やす取組みも行った。	A	C	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。	評価の指標は、乗合タクシーが系統ごとの1便あたりの利用者数、コミュニティバスが年間利用者数。地域の代表者や民生委員等へ利用啓発活動を行うと共に、運転免許証返納者に対し、無料乗車券を配布して新たな利用者の掘り起こしを行っていることを評価します。特に乗合タクシーについて、目標達成している系統が多くあり、引き続き利用者ニーズを把握し、子供、学生、高齢者など公共交通を利用して頂きたい方に対してアプローチして頂くことを期待します。今後も協議会が設定する改善点が着実に推進されることを期待します。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	鶴田線(乗合タクシー) 上場～鶴田支所の運行	地域サロンの代表者会等に参加し、乗合タクシーの周知及び利用促進活動を行った。また、出前講座のメニューにも追加し、啓発活動の機会を増やす取組みも行った。	A	C	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 上狩宿～さつまクリニック前の運行	地域サロンの代表者会等に参加し、乗合タクシーの周知及び利用促進活動を行った。また、出前講座のメニューにも追加し、啓発活動の機会を増やす取組みも行った。	A	A	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	段・薬師線(乗合タクシー) 段～さつまクリニック前の運行	薩摩すこやか線(コミュニティバス)を廃止し、新たに乗合タクシーの運行を平成30年10月1日から開始した。	A	B	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	金山線(乗合タクシー) 金山～さつまクリニックの運行	薩摩すこやか線(コミュニティバス)を廃止し、新たに乗合タクシーの運行を平成30年10月1日から開始した。	A	A	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	中津川・白猿線(乗合タクシー) 中津川～さつまクリックの運行	薩摩すこやか線(コミュニティバス)を廃止し、新たに乗合タクシーの運行を平成30年10月1日から開始した。	A	A	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	湯田・佐志線(乗合タクシー) 湯田～旧宮之城駅の運行	地域サロンの代表者会等に参加し、乗合タクシーの周知及び利用促進活動を行った。また、出前講座のメニューにも追加し、啓発活動の機会を増やす取組みも行った。	A	B	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	泊野・白男川線(乗合タクシー) 泊野～旧宮之城駅の運行	泊野・医師会病院線(コミュニティバス)を廃止し、新たに乗合タクシーの運行を平成31年4月1日から開始した。	A	B	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	山崎線(乗合タクシー) 山崎～旧宮之城駅の運行	山崎・医師会病院線(コミュニティバス)を廃止し、新たに乗合タクシーの運行を平成30年10月1日から開始した。	A	A	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行	地域サロンの代表者会等に参加し、乗合タクシーの周知及び利用促進活動を行った。また、出前講座のメニューにも追加し、啓発活動の機会を増やす取組みも行った。	A	A	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	柗野・紫尾線(乗合タクシー) 柗野～旧宮之城駅の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	A	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	中津川線(コミュニティバス) 北方町自治公民館前～屋地仲町の運行	運行時刻など通学利用に配慮したコミュニティバスの運行を平成31年4月1日から開始した。	A	C	効率的な運行・運営の観点からも、主な利用層である学生の予約手法の改善に向けた検討を進める。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	登尾線(コミュニティバス) 登尾～屋地仲町の運行	運行時刻など通学利用に配慮したコミュニティバスの運行を平成31年4月1日から開始した。	A	C	効率的な運行・運営の観点からも、主な利用層である学生の予約手法の改善に向けた検討を進める。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	柗野・紫尾線(コミュニティバス) 市野～屋地仲町の運行	運行時刻など通学利用に配慮したコミュニティバスの運行を平成31年4月1日から開始した。	A	C	効率的な運行・運営の観点からも、主な利用層である学生の予約手法の改善に向けた検討を進める。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	北原線(コミュニティバス) 牧之峰～屋地仲町の運行	運行時刻など通学利用に配慮したコミュニティバスの運行を平成31年4月1日から開始した。	A	A	効率的な運行・運営の観点からも、主な利用層である学生の予約手法の改善に向けた検討を進める。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	栗野線(コミュニティバス) あじさい団地入口～屋地仲町の運行	運行時刻など通学利用に配慮したコミュニティバスの運行を平成31年4月1日から開始した。	A	C	効率的な運行・運営の観点からも、主な利用層である学生の予約手法の改善に向けた検討を進める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(柳原線)	伊関～市内～西之表港	住民意見等に基づく利便性向上に向けた取り組みとして、市のイベントが行われる日曜日(従来は運休)の特別運行などを行った。 特に、減少傾向に転じた利用者の再獲得に向けて、全世帯に配布される市広報紙へ特集記事を掲載したり、全校区で開催された「市長と語る会」において、公共交通の利用の仕方、利用者登録依頼を行い、地域公共交通の周知・啓発を強化した。 また、校区住民による移動支援や社会福祉法人の公益活動による移動支援の在り方について検討を行った。	A	B	利用者は導入開始時(H24年度)からH28年度にかけて毎年増加傾向にあったが、同年で一旦の落ち着きを見せ、H29年以降減少が続いている。	評価の指標は、運行の態様ごとの年間利用者数及び満足度並びに1運行あたりの利用者数。年間利用者数及び満足度が共に減少傾向にある。全校区で利用方法等の説明を行っており、利用促進を図っていることを評価します。自己評価については、利用者ニーズを把握し、子供、学生、高齢者など公共交通を利用して頂きたい方に対する満足度向上に向けた運行環境の改善等を行うことを期待します。協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(立山線)	立山～市内～西之表港		A	B	原因としては、利用回数の多い方が入院等により利用しなくなったこと、新規登録者の減少、接客対応の悪さ等が理由と考えられる。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(古田線)	中割～市内～西之表港		A	B	自力での乗車が難しくなると利用をやめる傾向があり、乗降介助について要望がある。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	(株)市丸タクシー(国上線)	国上～市内～西之表港		A	B	車両の更新、運賃収入減、運行経費増により、自治体負担が増している。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	(株)市丸タクシー(住吉線)	住吉～市内～西之表港		A	B	適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方について、見直しを図りたい。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	種子島・屋久島交通(株)(市街地巡回バス)	西之表港～市役所・松島～西之表港		A	B			
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	多田・桑原城系統丸内～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布、住民対象の説明会を実施した。	A	C	利用者が減少したことから、利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催し、利用促進に努める。	評価の指標は、系統ごとの平均乗車人数。自己評価については、目標を達成できたものが1系統のみであったが、当該系統の乗車人数は減少している。また、目標は達成していないものの運行回数や利用者数が増加している系統もあるなど、各系統ごとに詳細な分析を行っていることを評価します。今後、広報や説明会の実施を予定していることから、利用者の利用促進やニーズの把握を図り、その結果を踏まえた平均乗車率等の目標達成に向けた利便性と継続性を考慮した対策の検討を行うことを期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。	
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	西目・遠見ヶ岡・倉津系統落～市民病院間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布、住民対象の説明会を実施した。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	目標は達成できなかったが、運行回数、利用人数は増加したため、引き続き市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	脇本北部系統八郷～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	目標は達成できなかったが、運行回数、利用人数は増加したため、引き続き市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	脇本西部系統深田～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	利用がなされていないことから、利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催し、利用促進に努める。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	脇本東部(瀬之浦)系統大淵川～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布、住民対象の説明会を実施した。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	利用人数が減少したことから、利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	脇本東部(桐野)系統桐野上～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	実利用人数及び利用頻度の減少が見られることから、利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	山下系統尾崎～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布、民生委員等を対象とした説明会を実施した。	A	A	目標は達成できたが、利用者が分散し乗車人数は減少した。今後も様々な広報媒体を用い、利用者への情報提供を充実させる。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	第一交通	田代系統米次～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布、民生委員等を対象とした説明会を実施した。	A	A	制度の周知が図られたからか利用人数が増加し、目標を達成できた。今後も利用者への情報提供を充実させる。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	第一交通	鶴川内木佐木野～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布、民生委員等を対象とした説明会を実施した。	A	C	利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー川上線の運行	前年の実績見込み462人より人口減少を加味し、目標値452人(前年比98%)以上とする。	A	B	利用者が減少傾向にあるのは人口減少等によるものが大きいと考えるが、昨年度策定した地域公共交通網形成計画に基づき、住民の利便性向上のため、地域内フィーダー系統路線等を見直し、路線のPRを行い、今後とも事業の目標設定また達成に努める。	評価の指標は、路線別の年間輸送人員数。自己評価について、目標を達成している系統が1つある他、目標に届いていないものの、達成率が高い系統が多い。広報のほか、出前講座を行い利用促進を行っていることを評価します。協議会が設定する今後の改善点が直ちに推進されることにより、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー大里線の運行	前年の実績見込み179人より人口減少を加味し、目標値173人(前年比97%)以上とする。	A	B			
いちき串木野市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	いきいきバス冠岳線の運行	前年の実績見込み715人より人口減少を加味し、目標値707人(前年比99%)以上とする。	A	A			
いちき串木野市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	いきいきバス芋ヶ野線(デマンド型)の運行 ※	前年の実績見込み6人より人口減少を加味し、目標値5人(前年比94%)以上とする。	A	C			
肝付町地域公共交通会議	(株) 銀河タクシー	辺塚～岸良～内之浦市街地	-	A	B	更なる利用者の増加を目的として、広報紙・ポスター等での事業の周知を行う。また、住民サービスの向上を目的として、運行方法の改善を行い、地域内公共交通体制の充実を図る。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの平均利用数。系統別の平均利用者数について、目標を上回ったのは1系統のみだが、平均利用者数にはバラツキが見られる。目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。利用者ニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化することにより具体的な評価を期待します。	
肝付町地域公共交通会議	(株) 銀河タクシー	内之浦市街地	-	A	C			
肝付町地域公共交通会議	(有) 鶴丸タクシー (有) 立石タクシー	岸良～高山	-	A	A			
肝付町地域公共交通会議	(有) 鶴丸タクシー (有) 立石タクシー	高山市街地	-	A	B			
肝付町地域公共交通会議	(有) 鶴丸タクシー (有) 立石タクシー	有明エリア	-	A	C			
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上神殿線	市文書発送による情報提供・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B			目標には達しなかったものの、利用は増加傾向にあるため、今後も広報紙・チラシ等を活用した利用促進を行うと共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発に努める。
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	中川・郡線	市文書発送による情報提供・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	目標には達しなかったものの、利用は増加傾向にあるため、今後も広報紙・チラシ等を活用した利用促進を行うと共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	竹之山・土橋線	市文書発送による情報提供・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	利用者の減少がみられるため、広報紙・チラシ等を活用した利用促進を行うと共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発に努め、新たな利用者確保を図る。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上・下方限線	市文書発送による情報提供・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等を活用した利用促進を行うと共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	恋之原線	市文書発送による情報提供・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	利用者の減少がみられるため、広報紙・チラシ等を活用した利用促進を行うと共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発に努め、新たな利用者確保を図る。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	久木野々線	市文書発送による情報提供・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	利用者の減少がみられるため、広報紙・チラシ等を活用した利用促進を行うと共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発に努め、新たな利用者確保を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	平鹿倉・湯之元線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	利用者の減少がみられるた め、広報紙・チラシ等を活用 した利用促進を行うと共に、 高齢者等を中心とした利用 方法の説明会等による啓発 に努め、新たな利用者確保 を図る。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	日添・田之尻線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	利用者の減少がみられるた め、広報紙・チラシ等を活用 した利用促進を行うと共に、 高齢者等を中心とした利用 方法の説明会等による啓発 に努め、新たな利用者確保 を図る。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	和田線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等を活 用した利用促進を行うと共 に、高齢者等を中心とした利 用方法の説明会等による啓 発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	藤元・野首線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	利用者の減少がみられるた め、広報紙・チラシ等を活用 した利用促進を行うと共に、 高齢者等を中心とした利用 方法の説明会等による啓発 に努め、新たな利用者確保 を図る。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	坊野・田尻線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等を活 用した利用促進を行うと共 に、高齢者等を中心とした利 用方法の説明会等による啓 発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日新線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	C	比較的市街地に近い地区の ため利用が少ない。地域住 民が集まる機会に合わせて 、意見等を聴取し、ニーズ を反映した便利で効率的な 乗合タクシーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日置線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	比較的市街地に近い地区の ため利用が少ない。地域住 民が集まる機会に合わせて 、意見等を聴取し、ニーズ を反映した便利で効率的な 乗合タクシーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	吉利線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配 布と共に、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	扇尾線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙・チラシ等の配 布と共に、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	住吉線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配 布と共に、高齢者等を中心 とした利用方法の説明会等 による啓発を図り、更なる利 用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	第一交通(株)	上野・皆田線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・公共交通マップ・総合時刻 表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	B	4月からの運行開始で目標 に達しなかったものの利用は 増えているため、広報紙・チ ラシ等の配布と共に、高齢 者等への利用方法説明会の開 催により更なる利用増に努 める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日置市地域公共交通協議会	第一交通(株)	高山・上市来(東市来)線	市文書発送による情報提供・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配布と共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発を図り、更なる利用増に努める。		
日置市地域公共交通協議会	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	高山・上市来(伊集院)線	市文書発送による情報提供・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成全世帯配布 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配布と共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発を図り、更なる利用増に努める。		
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	坊津から加世田市街地の運行(中山線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	適正な目標達成に努めたい。	評価の指標は、系統別の年間利用者数。地域懇談会を地区単位で開催し、各系統で利用促進を図っていることを評価します。自己評価については、6系統中2系統が目標を達成し、1系統が目標には達していないものの、昨年度実績を上回っており、利用促進の成果が多く表れている。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	池辺から加世田市街地の運行(高橋線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A	—		
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	大木場から加世田市街地の運行(大木場線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	適正な目標達成に努めたい。		
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	池辺門前からゆうらくの運行(池辺線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A	—		
南さつま市地域公共交通協議会	(株)森田タクシー	内山田から加世田市街地の運行(鉄山線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	適正な目標達成に努めたい。		
南さつま市地域公共交通協議会	南海交通(株)	白川・大田・阿多・大坂から金峰市街地の運行(白川線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	適正な目標達成に努めたい。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	上牧川～市街地～ 田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。	評価の指標は、路線ごとの年間輸送人員数。 自己評価について、目標を達している系統があるものの、全体的には減少傾向である。 目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 利用者ニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化することにより具体的な評価を期待します。	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	上牧川～上宝来～ 市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	浜津脇入口～増田～ 市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	今熊野～坂井～油久～ 市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	長谷～原尾～岩岡～ 市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	A	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	油久・南界地域～ 公立種子島病院の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	病院の診療時間等を勘案するなど利用者ニーズへ適切に対応したダイヤの変更を検討する。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	はやしタクシー	岩岡・南界地域～ 公立種子島病院の運行	年間利用者目標を達成し、前年度比の総利用者数も増加した。	A	A	病院の診療時間等を勘案するなど利用者ニーズへ適切に対応したダイヤの変更を検討する。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	はやしタクシー	三浜地区(大牟礼・伊原・下田・阿保)～ 市街地の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	秋佐野・向井町・戸畑～ 市街地の運行	年間利用者目標を達成し、前年度比の総利用者数も増加した。	A	A	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	女州・竹屋野～市街地の運行	広報活動を行っているが、高齢化が進み利用者数があまり増加していない。	A	C	利用実績が伸び悩んでいる。路線廃止・代替案を検討していく。		
始良市地域公共交通会議	(有)あいら交通	ふるさとバス(蒲生・春花線)	今回が初年度となる。	A	A	座談会等を実施し、公共交通の周知・利用促進を図る。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの平均利用数。 自己評価について、2系統とも目標を上回ると共に、内1系統は高い平均乗車率となっている。 アンケート調査や座談会を実施して利用実態を図り、運行内容の検討を行っていることを評価します。	
始良市地域公共交通会議	新川タクシー(株)	新留地区予約型乗合タクシー	今回が初年度となる。	A	A	座談会等を実施し、公共交通の周知・利用促進を図る。また、目標値については検討が必要。	目標達成したことについて成功例として分析し、今後の利用促進を図ることを期待します。 今後も座談会等を行うとしており、引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	